

Ⅲ 放課後子ども教室の実践事例

◇H 2 3 放課後子ども教室一覧 . . .	P 1 0 9
◇大津市	P 1 1 0
◇長浜市	P 1 1 6
◇草津市	P 1 3 1
◇栗東市	P 1 3 4
◇甲賀市	P 1 4 3
◇野洲市	P 1 4 7
◇東近江市	P 1 5 5
◇米原市	P 1 5 8
◇竜王町	P 1 6 3
◇放課後児童クラブの現状調査 . . .	P 1 7 1

H 2 3 放課後子ども教室一覧

	市町名	教室数	運営委員会・教室名	実施場所	開催曜日	開設時間	委託	委託団体名
1	大津市	5	○大津っ子・夢未来体験活動推進協議会					
			日吉台子ども教室	日吉台公民館	土	13:30~16:00		
			ながらこどもランド	長等公民館	水	15:00~16:30		
			石山放課後子ども教室	石山公民館	金	13:30~16:30		
			ワンダーランド	比叡平小学校・山中比叡平公民館	放課後月3	14:00~16:30		
			ふじみっこ	富士見公民館	水	13:30~16:30		
2	長浜市	14	○長浜市放課後子どもプラン運営委員会					
			長浜小学校区土曜学び座	長浜公民館ほか	土	9:00~12:00		
			長浜北小学校区土曜学び座	養蚕の館・長浜公民館・神照公民館ほか	土	9:00~12:00		
			神照小学校区土曜学び座	神照公民館・長浜スプリングレースほか	土	9:00~12:00		
			南郷里小学校区土曜学び座	南郷里公民館ほか	土	9:00~12:00		
			北郷里小学校区土曜学び座	北郷里公民館・北郷里小体育館ほか	土	9:00~12:00		
			長浜南小学校区土曜学び座	西黒田・神田・六荘公民館	土	9:00~12:00		
			びわ地区土曜学び座	びわ公民館ほか	土	9:00~12:00		
			浅井地区土曜学び座	湯田・田根・下草野・上草野・七尾公民館、浅井体育館ほか	土	9:00~12:00		
			虎姫地区土曜学び座	虎姫公民館・虎姫運動広場体育館	土	9:00~12:00		
			湖北地区土曜学び座	湖北公民館・湖北文化ホール	土	9:00~12:00		
			高月地区土曜学び座	高月公民館	土	9:00~12:00		
			木之本地区土曜学び座	公立木之本公民館	土	9:00~12:00		
			余呉地区土曜学び座	余呉文化ホール	土	9:00~12:00		
			西浅井地区土曜学び座	西浅井公民館	土	9:00~12:00		
3	草津市	2	○草津市放課後子どもプラン推進運営委員会					
			志津小学校放課後子ども教室	志津小学校体育館	水	15:00~17:00		
			草津第二小学校放課後子ども教室	草津第二小学校体育館	水	15:00~17:00		
4	栗東市	9	○栗東市地域教育協議会					
			新 金勝ふれあい子ども広場(未実施)	金勝小学校体育館 コミュニティセンター金勝	火or木	15:00~17:00		
			栗山ふれあい子ども広場	栗山小学校体育館・コミセン栗山東	月	15:00~17:00		
			栗山東ふれあい子ども広場	栗山東小学校体育館 コミュニティセンター栗山東	水	15:00~17:00		
			はるたっこ広場	治田小学校体育館 コミュニティセンター治田	金	15:00~17:00		
			チャレンジはるひがっこ	治田東小体育館・コミュニティセンター治田東	水	15:00~17:00		
			治西のびのび広場	治田西小学校体育館 コミュニティセンター治田西	火	15:00~17:00		
			大宝わくわくタイム	大宝小学校体育館	月	15:00~17:00		
			さんさん・キッズ	大宝東小学校体育館 コミュニティルーム	水	15:00~17:00		
			大宝西ふれあい子ども広場	大宝西小学校体育館 コミュニティセンター大宝西	水	15:00~17:00		
5	甲賀市	3	○甲賀市放課後子どもプラン運営委員会					
			水口子ども教室	伴谷・柏木・貴生川・岩上・水口中央公民館ほか	土・日	9:30~16:00		
			土山子ども教室	土山中央・大野・山内・鮎河公民館ほか	土・日	10:00~12:00 13:00~15:00		
			甲賀こども教室	からか生涯学習館・甲賀創健館ほか	主に土	10:00~12:00		
6	野洲市	6	○野洲市放課後子どもプラン運営委員会					
			中主地域子ども教室(中里・兵主)	コミュニティセンターなかさと・ひょうず	土・日	9:00~16:00		
			篠原地域子ども教室	コミュニティセンターしのはら	土・日	9:00~16:00		
			祇王ほえみ体験学習	コミュニティセンターぎおう	土・日	9:00~16:00		
			三上楽しいクラブ活動	コミュニティセンターみかみ	土・日	9:00~15:00		
			野洲学区わくわく子どもクラブ	コミュニティセンターやす	土	9:00~13:00		
			北野っ子フレンドリークラブ	コミュニティセンターきたの	土・日	9:00~11:30		
7	東近江市	2	○東近江市地域教育協議会					
			蒲生マックスクラブ	蒲生コミュニティセンターほか	土・日	9:30~11:30 14:00~16:00		蒲生地区地域教育力体験活動実行委員会
			てんびんの里放課後教室	五個荘コミュニティセンター てんびんの里文化学習センターほか	水 太鼓 土 その他	水18:00~19:30 土 9:30~12:00		五個荘地域教育協議会
8	米原市	4	○米原市放課後安心プラン運営委員会					
			新 放課後キッズinまいはら	醒井・息郷小体育館・スパーク米原ほか	土	9:00~11:30		NPO法人MOSスポーツクラブ
			放課後キッズinおうみ	近江公民館・周辺施設	土	9:00~11:30		NPO法人おうみ地域人権・文化・スポーツ振興会
			放課後キッズin来んせい	山東生涯学習センター	水・土	水15:45~17:30 土 9:00~12:00		タウンルッチ
			放課後キッズinジョイ	伊吹葉草の里文化センター 周辺施設	水・土日	水15:45~17:30 土日9:00~12:00		伊吹山山麓青少年育成事業団
9	竜王町	7	○公民館子ども教室運営委員会					
			新 チャレンジクラブ	竜王町公民館・妹背の里	土	9:00~12:00		
			新 デジカメパソコンクラブ	竜王町公民館	土	13:00~16:00		
			新 宇宙科学クラブ	竜王町公民館ほか	土	9:00~12:00 18:00~21:00		
			新 華道クラブ	竜王町公民館	水・土	13:00~16:00 19:00~22:00		
			新 絵画クラブ	竜王町公民館ほか	土	9:00~12:00		
			新 吹奏楽教室	竜王町公民館	木・土	19:30~21:30		
			新 和太鼓クラブ	竜王町公民館	土	9:00~12:00		
	県計	52						

大津市

大津っ子夢・未来体験活動推進協議会

連絡先

大津市教育委員会 生涯学習課

TEL 077-528-2635

FAX 077-523-5735

E-mail otsu2403@city.otsu.lg.jp

1 運営委員会組織

委員数 (16) 人

構成委員 (所属・役職名)

大津市自治連合会所属学区連合会長、大津市地域女性団体連合会会長、大津市PTA連合会会長、大津市子ども会育成連合会副会長、日本ボーイスカウト滋賀連盟大津地区連絡協議会副連絡協議会長、(社)ガールスカウト日本連盟滋賀県支部大津市連絡協議会会計、日本海洋少年団大津連絡協議会副会長、大津市スポーツ少年団副本部長、滋賀大学生涯学習教育研究センター長、市民部文化青少年課副参事、福祉子ども部児童クラブ課課長、教育委員会学校教育課副参事、市民スポーツ課課長補佐、生涯学習センター次長、生涯学習課課長、生涯学習課社会教育指導員

2 運営委員会の協議内容

回	実施日	参加人数	協議内容
1	6月27日	12名	役員の選出及び委員会の構成について 平成22年度年間活動計画について 平成22年度大津っ子夢・未来体験活動推進事業事業実績について 平成22年度放課後子ども教室推進事業事業実績について 平成22年度家庭教育推進事業実施結果について
2	11月29日	12名	平成23年度大津っ子夢・未来体験活動推進事業実施状況について 平成23年度放課後子ども教室推進事業実施状況について 平成23年度家庭教育推進事業実施状況について 委員会別(3委員会)協議及び情報交換
3	3月6日	名	平成23年度大津っ子夢・未来体験活動推進事業実施状況について 平成23年度放課後子ども教室推進事業実施状況について 平成23年度家庭教育推進事業実施状況について 平成23年度子どもの体験活動事業の現状と今後の課題について

3 広報

- ・ 小学校を通じて児童に案内チラシを配布する。
- ・ 公民館発行の「公民館だより」に、開催内容や日時を掲載してもらい自治会を通して回覧する。
- ・ 地域の青少年学区民会議や各種団体と連携し、啓発を行っている。

4 連携している関係機関、団体(学校・地域・企業)、指導者および連携・協力内容

- ・ 児童クラブ…隣接している子ども教室は、指導員と連携し交流を図っている。
- ・ 公民館 …活動場所の提供や事業内容のアドバイス等運営への側面援助を得ている。

大津市 日吉台子ども教室 日吉台小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	26 日
	—	●		●	●		1 日	18 日	うち長期休暇日数	7 日

教室の実施場所

日吉台公民館

参加対象学年・参加人数

【対 象】

園児=71人、小学1年～6年=101人、大人=8人

【参加人数】 平日 (41) 人

土日・祝日 (97) 人

長期休暇 (42) 人

活動内容

1. 開催日、時間・・・原則的に、毎月第2、第4土曜日に13:30～16:00まで開催
2. 活動内容・・・年間26回のうち7～8回程度は特別企画行事を開催、そのほかは子ども達が自由に友達と卓球、トランプ、人生ゲーム等で遊ぶ。(人数が少ないときは安全管理委員も一緒に)
3. 23年度の特別企画行事(予定を含む)
 - ・ザリガニ釣り(5. 28)
 - ・七夕飾り(6. 25)
 - ・東北被災地への「いのり」(8. 27)
 - ・安楽律院へのハイキング(10. 29)
 - ・クリスマス会(12. 22)
 - ・書き初め会(24. 1. 5)
 - ・ひなまつり(24. 2. 25)



ザリガニ釣り



クリスマス会で「おひさま楽団」の方に楽器に触らせてもらっている

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

あまり積極的には募集していないが子どもと一緒に参加された保護者には声をかけている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	3～4人	—	≒1人	—
登録者数	6人	—	3人	—

連携している機関

【学校】「無し」

【学校支援地域本部】「無し」

【児童クラブ】「無し」

【地域】自治連合会から金銭面で助成してもらっている

【企業・大学】「無し」

【その他】

安全管理・配慮事項

【送迎】

園児の場合：保護者に送迎を徹底してもらっている

【緊急対応】①緊急時のマニュアル(連絡先・ルート等を明記)を備え付けている。②保護者への連絡先はカード形式で保管・把握している。③救急箱は設置し

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

事業を実施して

【成果と課題】①子ども達は楽しい時間を過ごし、満足して帰る。②参加者が固定化し、人数が少ない

【子どもの声】①いろいろな遊びができて楽しい。②部屋が広く走り回れるのでうれしい

【保護者の声】①子ども達がのびのびと遊びまわれ、ストレス発散になっている。②イベントにも積極的に参加させてもらい楽しんでいます。

【スタッフの声】①参加者が少なく、子ども教室は必要がないのではないと思う。②参加者が低年齢化し、イベント等の内容も考えていかなければいけないと思う。③参加者が少ないため、張り合いがない。

大津市

長等放課後子ども教室

長等小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	9日
	—	●		●	—		9日	0日	うち長期休暇日数	0日

教室の実施場所

長等公民館

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学校1年生～6年生
 【参加人数】 平日 (67) 人
 土日・祝日 (—) 人
 長期休暇 (—) 人

活動内容

★自由遊び

フラフープ・アイロンビーズ・ミニゲーム・アクセサリー作り
 縄跳び・オセロ・折り紙・ドッチボール・宿題など、自由な
 活動で子ども達が伸び伸びと遊んでいる。



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
 地域の方に直接声をかけ、参加してもらっている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	4	—	—	—
登録者数	5	—	—	—

安全管理・配慮事項

【送迎】 学校から直接参加するので、下校途中には地域の
 スクールガードの見守りがある。

【緊急対応】

【配慮の必要な子どもへの対応】
 特に無し

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

連携している機関

【学校】 長等小学校(案内チラシの配布)

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 無し

【企業・大学】 無し

【その他】 無し

事業を実施して

【成果と課題】 広いホールで伸び伸びと遊ぶことができる。

【子どもの声】 自分の好きな遊びが選べて、楽しい。

【保護者の声】 子どもが毎月楽しみに参加している。

【スタッフの声】 学校帰り子ども達だけでなく、帰宅してからやっ
 て来る子もあり、定例開催を楽しみにしてくれているのが嬉しい。
 スタッフも童心に戻り、一緒に遊ぶことで自然と交流ができてい
 る。

大津市 石山放課後子ども教室 石山小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	49日
	—	●		●	—	開催日数	41日	0日	うち長期休暇日数	8日

教室の実施場所

石山市民センター 1階図書室

参加対象学年・参加人数

【対象】 幼児・小学校1年生～6年生
 【参加人数】 平日 (1,981) 人
 土日・祝日 (—) 人
 長期休暇 (339) 人

活動内容

- ・図書の貸し出し活動や読み聞かせ
- ・親子や友達と読みたい本やよく読まれている本について情報交換し、交流する。
- ・来室する幼稚園児の親子への絵本を通した子育て支援



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
 地域で配布されるお便りや会議を通して呼びかけている。
 長年継続している活動なので、口コミなどでも協力が得られる。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	4	—	1	—
登録者数	15	—	—	—

連携している機関

【学校】 石山小学校

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 石山児童クラブ(子どもの引率や活動支援)

【地域】 学区内の諸団体と交流

【企業・大学】 無し

【その他】 無し

安全管理・配慮事項

【送迎】 個人で来室するので、交通安全等の声かけをする。

【緊急対応】 来室する子どもの個人カードに、連絡先を明記しておく。

【配慮の必要な子どもへの対応】
 学校・園・児童クラブと連絡を取り合っている。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(5)人

事業を実施して

【成果と課題】 長年にわたり継続している活動なので、地域の居場所として定着している。幼稚園児も参加している。

【子どもの声】 友達と学校の帰りに一緒に寄れて、好きな本を読んだり借りることもできるので毎週楽しみにしている。

【保護者の声】 学校に近く、定期的に参加することで子どもが自然と本に親しんでくれるのが嬉しい。スタッフの方とも交流ができて、親子で訪れてもほっとできる。

【スタッフの声】 本の貸し出しを通して子ども達と楽しく会話ができて、和やかな交流をしている。保護者との情報交換もできるので、子育て支援にもつながっている。

大津市放課後子ども教室「ワンダーランド」比叡平小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	26日
	●	●					22日	0日	長期休暇日数	4日

教室の実施場所

・比叡平小学校体育館・いこいの部屋
山中比叡平公民館(長期休暇)

参加対象学年・参加人数

【対象】小学生1～6年
【参加人数】 平日 (616人)
土日 (0人)
長期休暇(165人)

活動内容

●体育館
自由遊び
ドッジボール・ソフトバレーボール・バスケットボール
フラフープ・大縄跳び

●いこいの部屋
受付後体育館といこいの部屋に分かれて自由遊び

卓球・カラム・将棋・オセロ・毛糸編み(機織り)・ビー玉並べ
折り紙・こま回し・百人一首



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
地域の方に声をかけ参加してもらっている。
(公民館広報誌でスタッフの募集をしている。)

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	6人	—	—	—
登録者数	13人	—	—	—

連携している機関

【学校】教頭は居場所づくり実行委員会メンバー
【学校支援本部】「無し」
【児童クラブ】低学年は、教室に参加し、終了後クラブに参加。
【地域】「無し」
【企業・大学】「無し」
【その他】「無し」

安全管理・配慮事項

【送迎】
いこいの部屋受付まで自分で移動。帰りは6～7割の児童が隣の児童クラブへ。1～2年の数人は安全管理員が送る。
【緊急対応】
救急箱を用意。学校と保健室に緊急時に協力を要請している。
【配慮の必要な子どもへの対応】
スタッフで情報交換しているが、今年度は特に配慮の必要な子どもはいない。

事業を実施して

【成果と課題】 世代間交流 安全管理員さんの高齢化
【子どもの声】 いろいろ遊んだりするのが楽しい
【保護者の声】 子どもが楽しみにしている
【スタッフの声】 世話をするなかで元気をもらっている

大津市 富士見放課後子ども教室 富士見小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	12日
		●			●		10日	0日	うち長期休暇日数	2日

教室の実施場所

富士見公民館

参加対象学年・参加人数

【対象】小学1～6年

【参加人数】 平日 (274) 人
 土日・祝日 (0) 人
 長期休暇 (36) 人

活動内容

①出席カード ②宿題 ③自由遊びまたは、工作 ④絵本読み

■自由遊び

スポンジマットピースを自由に組み合わせて、人が入れるほどの立体的な基地や家を作ります

ボール遊び、ドミノ、お絵かき、折り紙も人気です

■工作

紙粘土、牛乳パックを使ってパクパク人形づくり、ジャンボかるた作り、クリスマス飾りなど様々な工作をしました

■お習字

■仏教童話の語り聞かせ

特にこどもたちが喜んだのは、クモの巣やしきとジャンボかるたでした



写真1

紙テープをはりめぐらせ、クモの巣のようにして遊ぶ(写真1)
 自分たちで文も絵もかきましたジャンボかるた(写真2)
 お習字の様子(写真3)



写真2



写真3

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

専門員に紹介された公民館利用者

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	4	—	1～3	1
登録者数	4	—	3	1

連携している機関

【学校】 なし

【学校支援地域本部】なし

【児童クラブ】 なし

【地域】なし

【企業・大学】なし

【その他】なし

安全管理・配慮事項

【送迎】 原則、保護者の送迎

【緊急対応】 避難訓練の実施、緊急連絡先の把握

【配慮の必要な子どもへの対応】

参加実績なし

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

事業を実施して

【成果と課題】 異年齢の子どもたちが、安全に遊べる場所となっている。安全管理員、スタッフの確保

【子どもの声】 色々な遊びや工作ができて楽しい

【保護者の声】 家ではできないような遊びができて、ありがたいです。

【スタッフの声】 異年齢の子どもたちの居場所づくりも3年目に入り、定着してきました。今後も地域の方々のお力を借りながら子どもたちの安心安全な居場所づくりを続けていきたいと思っています。

長 浜 市

長浜市放課後子どもプラン運営委員会

連絡先

長浜市企画部生涯学習・文化スポーツ課

TEL 0749-65-6552

FAX 0749-65-6571

E-mail syougaku@city.nagahama.lg.jp

1 運営委員会組織

委員数 (13) 人

構成委員 (所属・役職名)

長浜市社会教育委員、長浜市放課後児童クラブ関係者、長浜市PTA関係者、小学校教員、
長浜市教育委員会教育指導課長、生涯学習・文化スポーツ課長、コーディネーター

2 運営委員会の協議内容

回	実 施 日	参加人数	協 議 内 容
1	6月16日	13人	・土曜学び座事業内容について ・放課後児童クラブ事業内容について
2	3月		・土曜学び座事業報告について ・放課後児童クラブ事業報告について
3			

3 広報

参加者募集については、学校を通じてチラシを配布し、学校で参加者の取りまとめをしていただいている。
毎月のチラシを報道機関へ資料提供し活動内容をPRしている。

4 連携している関係機関、団体（学校・地域・企業）、指導者および連携・協力内容

〈学校〉…参加者募集について、学校を通じてチラシを配布し、学校で参加者の取りまとめをしてもらっている。

〈子ども会・地区社会福祉協議会・地域づくり協議会など〉…事業の共催や指導者・ボランティアとして協力してもらっている。

〈企業・大学〉…講師として協力してもらっている。

5 スタッフの研修・ミーティングなど

〈情報交換会〉内容：プログラムについて、事業の進め方についてなど（年2～3回）

対象：各公民館土曜学び座担当職員、コーディネーター

長浜市

土曜学び座

長浜小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	51日
	—	●		—	●	開催日数	0日	50日	長期休暇日数	1日

教室の実施場所

長浜公民館・長浜西中学校校体育館・大阪ガス科学館
・長浜小学校・長浜バイオ大学・長浜農業高校

参加対象学年・参加人数

【対象】 小学1～6年生
【参加人数】 土曜日 1,702 人
長期休暇 21 人

活動内容

①こども囲碁教室 年間10回

②キッズアート

・モノクロ写真にお絵かき ・スクラップブック
・オリジナル応援うちわ ・マグネットクリップ

③料理

・さばそうめん ・ピザ
・給食のおすすめメニュー ・そば打ち
・みそづくり ・バレンタインのお菓子

④スペシャリスト

・めざせ気象予報士 ・草木染め
・マジックショー ・まが玉づくり

⑤自然教室

・たき火で焼いもをしよう

⑥スポーツ

・フラッグフットボール

⑦科学

・バイオ大学見学 教授の講義とCELL部の科学実験

⑧企業

・パナソニック「びわ湖のびっくり箱づくり」
・大阪ガス科学館見学

⑨高校

・伊吹高校書道部「パフォーマンス書道」
・長浜農業高校食品化学科「パンづくり」



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

地域や地域の団体の方に「味噌づくり」や「さばそうめん」「そば打ち」などの講師やスタッフとして参加していただいた。また、長浜バイオ大学、長浜農業高校、伊吹高校など地元の高校や大学を訪問したりする講座を開催している。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	—	—	0～3	1～3
登録者数	—	—	—	—

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる

連携している機関

【学校】 予定表の配布・申込書の回収

【学校支援地域本部】学校支援メニュー等の情報提供を受けている

【児童クラブ】 長期休業中の出前講座

【地域】 講師やボランティアスタッフの依頼

【企業・大学】 連携した講座を開催

【その他】 市内公民館との情報交換

安全管理・配慮事項

【送迎】 参加は保護者の送迎を原則とし、毎月のチラシで呼びかけている

【緊急対応】 「土曜学び座安全マニュアル」に基づき対応

【配慮の必要な子どもへの対応】 コーディネーターや職員が場面に応じて支援している

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加 本年度は把握していない

事業を実施して

【成果と課題】 地域の方や企業、大学、高校との連携が進んだ

【子ども・保護者の声】 毎週様々な体験ができ、たいへん楽しみに参加しているという声をいただく。ただ、参加申込み数が多く、全員を受け入れられないことが多い。毎週実施することによりいずれかの講座に参加できるよう配慮している。

【スタッフの声】 土曜学び座を実施するようになり9年が経ち、保護者や地域に広く周知されるところとなり、協力も得られやすくなっている。学び座を通してさらに地域や世代間の交流が進めばいいと思う。

長浜市 土曜学び座

長浜北小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	24日
	—	●		—	●		0日	24日	長期休暇日数	0日

教室の実施場所

- ・養蚕の館 長浜公民館 神照公民館
- ・長浜スプリングレーンズ
- ・地域内の田んぼ
- ・大阪ガス ガス科学館

参加対象学年・参加人数

- 【対 象】 1～6年生
- 【参加人数】 平日 ()人
 土日・祝日 (475)人
 長期休暇 ()人

活動内容

- ①毎月開催：子ども囲碁教室
 ②スポーツ：フラッグフットボール・ボウリング教室
 ③アート(工作)：ネイチャークラフト・マグネットホルダー
 ④工作 & 体験：みんなで楽しく腹話術に挑戦・切り絵
 ⑤体験学習：そばづくり体験(種まきから収穫・そば打ち)
 ⑥企業等との連携：大阪ガス ガス科学館「ガス科学館見学ツアー」雪印メグミルク料理講習会「子ども料理教室」



コーディネーターや地域の方々などの参加

- 【採用・募集方法】
 施設に係わっておられる方や団体・地域の方に声をかけて講師やお手伝いをお願いしている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	—	—	1～3	1～2
登録者数	—	—	—	—

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる
 連携している機関

安全管理・配慮事項

- 【送迎】 保護者の送迎を原則としている。帰る時は保護者の方が来られるまで見守り。

- 【緊急対応】 土曜学び座安全マニュアルに基づき対応。参加申し込み名簿には電話番号を記載。

- 【配慮の必要な子どもへの対応】
 地域担当の先生に相談。必要があれば対応する。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(1)人

事業を実施して

- 【学校】地域担当・教頭先生をお願いしている。

- 【学校支援地域本部】なし

- 【児童クラブ】 なし

- 【地域】青少年育成会議・地域住民にボランティアを依頼

- 【企業・大学】 プログラムの紹介や講師の派遣

- 【その他】他公民館との情報交換

- 【成果と課題】子どもが受け身にならないような講座を企画し、保護者も積極的に活動できるような学び座を運営していきたい。

- 【子どもの声】「楽しかった」

- 【保護者の声】「良かったです」

- 【スタッフの声】「学び座」の卒業生がボランティアや講座の講師としてかかわっていただけるようにしたい。

長浜市

土曜学び座

神照小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	17 日
	—	●		—	●		0日	16日	長期休暇日数	1 日

教室の実施場所

神照公民館・長浜スプリングレーンズ他

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学校1年～6年
 【参加人数】 平日 (0) 人
 土日・祝日 (442) 人
 長期休暇 (8) 人

活動内容

1)体験実習

- ◎ さつまいも
苗植えから収穫まで・・・①さつまいも畑をつくろう(苗植え)
②さつまいもの収穫体験
- ◎ そば
種まきからそば打ちまで・③そば種をまこう
④そばの刈り取り体験
⑤そば打ち体験



さつまいもの苗植え
◎キャンプ
⑥ディキャンプ



そばの刈り取り



飯ごうの米かし

2)クラフト

- ⑦ つくってあそぼう(スライム&くうきぼう)
- ⑧ つくってあそぼう(風車)
- ⑨ ネイチャークラフト
- ⑩ クリスマスカざりをつくろう
- ⑪ せっけんデコパージュ
- ⑫ 手作りカレンダーづくり

3)ボウリング教室

- ⑬ ボウリングを楽しもう

4)料理

- ⑭ さつまいもでおかしをつくろう
- ⑮ ひなまつりおかしづくり

5)環境学習

- ⑯ びわこビックリ箱づくり
(びわこのさかな)



箱(琵琶湖)の在来魚釣りゲーム

- ⑰ 地球にやさしいラーメン作り

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

地域の方々に声をかけスタッフ(ボランティア)をお願いしている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	1～2	—	1	0.5
登録者数	2	—		—

連携している機関

【学校】 神照小学校

全児童あてのチラシ配布を依頼し参加募集を行っている。

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 青少年育成会議・子ども会等地域住民団体

【企業・大学】 特定していないが出前講座を依頼することがある。(今年はパナソニック・バイオ大学・大阪ガス)

【その他】 特になし

安全管理・配慮事項

【送迎】 講座への参加は、保護者の送迎を原則としている。

【緊急対応】 土曜学び座安全管理マニュアルに基づき対応している。

【配慮の必要な子どもへの対応】

障害の有無にかかわらず、保護者が送迎時に申し出された時は、保護者同伴の参加をお願いしている。

班編成にし人数の少ない班や手のかからない班に入れたり目ごとく様工夫している。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(1)人

事業を実施して

【成果と課題】 全学年対象なので異学年の交流が出来る。又、高学年が低学年をみてくれ、役に立つ喜びと責任感が生まれ頼もしく成ってきた。

学び座が浸透し、ボランティアや講師さんの協力が増えてきた。

課題としては、参加する児童が限られていることと、高学年の参加が少ないことがあげられる。

【子どもの声】 「楽しかった。」「家でしよう。」「又来るわ」等声が聞かれる

【保護者の声】 「色々教えてもらえるので勉強になる。」「普段かまっていられないので、いい機会で、楽しみにしている。」等

【スタッフの声】 子どもの発想に驚き、感心させられることが多く、それが楽しい。又、講師やボランティアの方を見習うことも多く勉強になる。準備が大変な講座もあるが子ども達が喜んでくれると嬉しい。

長浜市 土曜学び座 南郷里小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	12日
	—	●		—	●	開催日数	0日	12日	長期休暇日数	0日

教室の実施場所

南郷里公民館、南郷里幼稚園遊戯室

参加対象学年・参加人数

【対 象】 南郷里小学校児童1年生～6年生
 【参加人数】 平日 0人
 土 255人（延べ人数）
 長期休暇 0人

活動内容

◆美術・・・切り絵であそぼう、スクラップブックング、水彩画を楽しもう、ねんどでハンバーガーをつくろう
 ◆軽スポーツ・・・ディスコン
 ◆企業・・・大阪ガス「超低温の世界をたいけんしよう」
 ◆料理・・・健康推進員「ミルクパワーでげんきレシピ」
 ◆伝承・・・六ちゃん会のおたのしみ会、たなばたささかざり、もちつき大会
 ◆その他・・・パネルシアター、ガーデニングと人形劇

工作、軽スポーツ、料理などさまざまなジャンルの講座を企画し、なるべく学年や男女関係なく楽しめるように考えている。スクラップブックングの作品は、公民館の文化祭に展示し、多くの人に見ていただいた。また、たなばたささかざりや健康推進員さんの料理講習など、地域の方に講師になっていただき交流を深める良い機会となった。大阪ガスの液体窒素を使った実験は、男の子の参加も多く子どもたちのワクワクする様子がうかがえた。



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

自主的にお手伝いしてくださる地域の方がおられる。その他は必要な場合にのみ、お手伝いを依頼する。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	3	—	1	1
登録者数	—	—	—	—

安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者による送迎を原則とし、予定表に毎回その旨を記載している。講座終了後は、館内で迎えを待つよう見守りをしている。

【緊急対応】 土曜学び座安全管理マニュアルに基づき対応。参加申込書に連絡先を記載し、すぐに連絡がとれるようにしている。

【配慮の必要な子どもへの対応】 必要に応じて学校と相談しながら対応している。

連携している機関

【学校】 予定表の配布・申込書の回収

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 民生委員児童委員・健康推進員

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

事業を実施して

【成果と課題】 土曜日午前中の過ごし方として学び座は定着している。低学年は内容によっては親子参加にするなど、なるべく全学年に対応できるよう工夫をしているが、実際は参加者が固定化しているため、講座内容について検討する必要がある。また、体を動かす楽しみも知ってほしいので、軽スポーツやレクリエーションなどももっと取り入れたい。地域との交流を深めるために、学び座に参加していた子が中・高・大学生になったとき、今度はボランティアとして参加できるような連携がとれるとよいと思う。

長浜市 土曜学び座 北郷里小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	19日
	—	●		—	●		0日	19日	長期休暇日数	0日

教室の実施場所

北郷里公民館・北郷里小学校体育館・屋外講座もあり

参加対象学年・参加人数

【対象】 小学生1～6年（講座内容により幼稚園生）
 【参加人数】 小学生延べ404人 幼稚園生60人
 【長期休暇参加人数】 「なし」

活動内容

- クラフト
 - ・リサイクル工作（小物入れ） ・しめ縄づくり
 - ・クリスマスカードづくり ・森の仲間たち（切り絵）
 - ・さをり織り
- 料理
 - ・おいも＆ぜんざい ・そばうち道場
 - ・ひなまつりお菓子づくり
- スポーツ
 - ・卓球大会 ・ドッチビー
- 遊び
 - ・レクリエーションゲーム2回 ・オセロ・カロム大会
 - ・おはなし会
- その他
 - ・地引き綱 ・お化け屋敷を作ろう
 - ・三世代交流餅つき大会 ・長巻き寿司づくり



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】 募集していない。
 ・コーディネーター1名 地域のボランティアスタッフ2名
 ・地域の健康推進員さんにお菓子づくりなど教えていただいている

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	—	—	2	1
登録者数	—	—	—	—

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる

連携している機関

【学校】 学び座の案内配布・回収

【学校支援本部】 「無し」

【児童クラブ】 「無し」

【地域】 地区青少年育成会・地区社会福祉協議会を主力に各種団体

【企業・大学】 「無し」

【その他】 市内ボランティアサークルと連携し、講師紹介を要請している。

安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者の送迎を低学年の子ども達はお願している。

【緊急対応】 「土曜学び座安全マニュアル」に基づき対応
 参加者の連絡先は申込書時に記入するようにしている

【配慮の必要な子どもへの対応】 スタッフが周りに気を配りながら対処しているが、場合によっては保護者に連絡して迎えにきてもらうこともある。

事業を実施して

【成果と課題】 最近では低学年の参加が多く、これは学び座の内容に問題があるのではないかと思います。もう少し高学年が興味をもってくれそうな内容を検討したい。

【子どもの声】 「楽しい！」「もっとおやつ作りたい！」「いろいろ教えてもらって楽しい」

【保護者の声】 「学び座に参加するようになって友達が増えた」「いろんなことを習ってきてありがたいです。明るくなりました」「子どもが休日の午前中を有意義に使えてうれしい」

【スタッフの声】

- ・子どもの喜びの表情を見るとやりがいを感じる。
- ・子ども達から教わることもいろいろある
- ・参加する子どもが固定化している傾向がある。他の子にも呼びかけが必要。

長浜市

土曜学び座

長浜南小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日	平日	土日	年間開催日数	31日
	—	●					0日	31日	長期休暇日数	0日

教室の実施場所

神田公民館・六荘公民館・西黒田公民館

参加対象学年・参加人数

【対象】 小学1～6年生講座によっては保護者参加可
 【参加人数】 子供756名 全体1,267名
 (12月末開催分までの集計)
 【長期休暇参加人数】 なし

活動内容

①料理教室3回(親子料理、ソバ打ち、クリスマスケーキ作り)講師は、健康推進委員や、地域の方に依頼。
 ②スポーツ教室5回(三世代交流グラウンドゴルフ大会、バドミントン、ドッジボール、相撲大会など)講師は、地域サークルの方に依頼。



クリスマスケーキ作り

③体験・工作教室8回(海釣り体験、星空観望会、パルンアート、マジック、電気教室、絵手紙教室、科学実験教室、リース作りなど)
 ④地域行事との合同開催11回(クリーン作戦、里山歩き、パイオ大見学会、運動会、文化祭など)地域づくり協議会が主催するイベントに参加する形で実施。



科学実験教室

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】通常の行事とあわせて開催するときは、地域の広報紙に情報を掲載したり、別にチラシを配布したりしている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	3	—	3	1
登録者数	—	—	—	—

安全管理・配慮事項

【送迎】 基本的に、保護者の送迎。

【緊急対応】「土曜学び座安全マニュアル」に基づき対応受付時に個々の連絡先を把握している。

【配慮の必要な子どもへの対応】
 グループ分けの時に、大人の目の届くようにしている。
 ◎特別支援学級(学校)の子ども参加()人

連携している機関

【学校】 長浜南小学校

【学校支援本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 3地区の地域づくり協議会

【企業・大学】 無し

【その他】 青少年・子ども会との連携

事業を実施して

【成果と課題】 挨拶や、靴を揃えて脱ぐことの声かけをするようにしているので、出来るようになってきた。異年齢でのグループ分けにより、高学年の子が低学年の子の面倒を見るようになってきた。

【子どもの声】 もっと色々なことを学びたい。

【保護者の声】 親も子供と一緒に、学び座のチラシを見るのを楽しみにしている。

【スタッフの声】 スポーツ少年団に入団している児童が多いため、参加者は低学年で同じ子ども達の参加が多い。講座によって申込み人数に差が出ているため、常に同じだけの人数確保をするためには、企画力が必要となる。今年度は、関西電力の電気教室やパイオ大の科学実験などの新しい講座が人気でした。

長浜市 土曜学び座

びわ地区(びわ北・びわ南小学校区)

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	15日
	—	●		—	●	開催日数	0日	14日	長期休暇日数	1日

教室の実施場所

びわ公民館
びわ高齢者福祉センター

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学校1～6年
【参加人数】 平日 ()人
土日・祝日 (約500)人
長期休暇 (約100)人

活動内容

- ①料理の講座 2回
手打ちそばを作ろう・とても簡単ピザ
②スポーツの講座 1回
楽しく体を動かそう



- ③体験の講座 4回
新春お楽しみ会・みんなも腹話術師・マジックショー・遊びのフリマ
④工作の講座 6回
ネイチャークラフト・七夕さかさざりを作ろう・勾玉を作ろう・クリスマスリース作り・お菓子のパッケージが大変身・モノクロにお絵かき
⑤実験・学習の講座 2回
楽しい科学あそび・チリモン探しにチャレンジしよう



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
地域の方や公民館のボランティアグループにお願いしている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	—	—	1～2	1
登録者数	—	—	—	—

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる

連携している機関

【学校】 びわ北・びわ南小学校
予定表の配布・申込書の回収

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 無し

【企業・大学】 無し

【その他】 ボランティアグループ「サークル・きらり」に協力をお願いしている。

安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者の送迎

【緊急対応】 安全管理マニュアルに基づき対応。また、申込書提出時に参加者の連絡先の記入をお願いしている。

【配慮の必要な子どもへの対応】

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加()人

事業を実施して

【成果と課題】 毎回多くの児童が参加してくれる。ただ、スタッフの人数が限られ他の事業もあるため、講座の回数を増やすことは難しい。

【子どもの声】「次は何する?」「これもう1回やって」など、次回を楽しみにしてくれている。

【保護者の声】「普段体験できないことができて楽しみにしている。」

【スタッフの声】 子どもの柔軟な発想に思わずうらやましく思うことが多々ある。また、準備が大変な講座もあるが子どもが喜んでくれると嬉しい。

長浜市 土曜学び座 浅井地区(湯田・田根・下草野・上草野・七尾小学校区)

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	144日
	—	●		—	●		0日	140日	長期休暇日数	4日

教室の実施場所

・浅井地区5公民館(湯田、田根、上草野、下草野、七尾) ・
浅井体育館、五先賢の館 等

参加対象学年・参加人数

【参加人数】 1655人(土曜学び座、あざいぶれすく2 合計)
長期休暇 (82)人

活動内容

＜土曜学び座＞

通常は各小学校区(浅井地区は5学区、5公民館)を対象に、各館がそれぞれ企画し、開催しています。

創作・・・アイロンビーズ、スイーツデコ、プラ板づくり、カードづくり、俳句づくりに挑戦、フラワーケーキ、マグネットクリップ、マリーゴールドそめ、イラスト室、季節のリースづくり、ビーズボールづくり、クラフトマフラーづくり、秋のお花で生け花、コラージュ作成等

料理・・・よもぎ団子づくり、クレープづくり、ういろうづくり

おかしなご焼き、簡単クリスマスケーキ等

研究・・・小麦粉の研究、寒天とゼラチンの研究等

環境・・・地域探索ウォーキング、野鳥観察・大阪ガス(地球にやさしいラーメンづくり)

その他・・・たけとり座(チャレンジ!! 腹話術) 妖怪博士に聞いてみよう等

スポーツ・・・バトミントン教室、ターゲットゲーム、西池カヌー教室等



＜あざいぶれすく2＞

年間を通じて参加する講座で、子ども達が中心となり、活動しています。毎回、楽しみにしてきてくれ、スキルアップをしています。

また、浅井地区全体の小中学生対象のため、学区間、異年齢の子ども達同士のふれあいの場になっています。

陶芸教室 年9回

陶芸美術教室 年11回

茶道教室 年6回

ニュースポーツ教室 年9回

フットサル 年16回

フラワーアレンジメント教室 年4回

ギター・ベースレッスン 年8回

イラスト倶楽部 年9回



コーディネーターや地域の方々の参加

【採用・募集方法】

地域に呼びかけをしたり、以前講座を受講した参加者がボランティアスタッフとして協力してくれます。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	1	—	1	1
登録者数	—	—	—	—

連携している機関

【学校】 チラシの配布を依頼

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 地域が主催する祭りなどとの行事と合同開催する時もある。

【企業・大学】 出前講座を依頼することがある。

【その他】 特になし

安全管理・配慮事項

【送迎】

参加は保護者の送迎を原則とし、送迎できない場合は、近所の友達と誘い合わせて参加するよう呼びかけています。

【緊急対応】「土曜学び座安全マニュアル」に基づき対応

募集の際に連絡先を聞いておき、緊急時に連絡がとれるようにしています。

【配慮の必要な子どもへの対応】 保護者の人や、子ども達に様子を聞いたり、自信が持てるように声かけをしてあげられるよう心がけています。

◎特別支援学級(学校)の子ども参加()人

事業を実施して

【成果と課題】 子ども達との交流や、いろいろな体験の場を提供できてよかった。参加人数が少ないことや、ボランティアスタッフの発掘、育成が出来ていないことが課題ですが、今後も子ども達がいいきと活動できる講座を考えていきたい。

【子どもの声】制作や、クッキングは楽しい、おもしろいと好評で楽しみにしてくれている子も多いが、スポ少や、習い事で来れないと残念がる子もいる。

【保護者の声】 子どもと一緒に活動してくれる保護者もいて、関心を持ってくれ、親子交流の時間が持てて良かったと喜んでくれている。

【スタッフの声】子ども達の創造力にはすばらしいと感心している。あいさつもしっかりでき、準備や後片付けを積極的に取り組んでくれる子ども達もいて、スタッフ一同喜んでいる。今後も地域の身近な場所での子ども達の活動の場、ふれあいの場を提供していきたいです。

長浜市 土曜学び座

虎姫小学校校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	18日
	—	●		—	●	開催日数	0日	17日	長期休暇日数	1日

教室の実施場所

虎姫公民館、虎姫運動広場体育館

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学1年～6年
 【参加人数】 平日 ()人
 土日・祝日 (約360)人
 長期休暇 (10)人

活動内容

- ものづくり（きり絵細工、紙粘土など）
- 環境学習（びわ湖学習、エコ学習）
- ボランティア活動（災害地へ「つえ」を送る活動）
- スポーツ（ディスコン、卓球、ボウリング）
- 科学実験
- 料理（パンづくり、和菓子づくりなど）



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
 地域の方々に声をかけてスタッフ（ボランティア）をお願いしている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	—	—		1
登録者数	—	—		

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる

連携している機関

【学校】 無し

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 無し

【企業・大学】 無し

【その他】 「おやじの会」（ボランティアグループ）に協力をお願いしている。

安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者の送迎

【緊急対応】 「土曜学び座安全マニュアル」に基づき対応
 毎回、参加者（保護者）の緊急連絡先の提出をお願いしている。

【配慮の必要な子どもへの対応】

事業を安全に進めるため、小学校と連絡を取り合い子どもたちの様子や支援の必要性など個人情報の関係もあるが、できる範囲の情報提供をお願いしている。支援が必要な子どもが参加した場合は、情報を共有して対応をしている。

事業を実施して

【成果と課題】 低学年の保護者が少ない人数であるが参加してくれるようになった。卓球教室では、父親の参加があったので、子どもたちへの球出しなど協力してもらった。参加者の年齢の幅が大きいので、内容を「どこに絞って決めるのか」が難しい。

【子どもの声】 学校などで会った時、「次はいつ、何するの」とか聞いてくれて、楽しみにしてくれているようだ。

【保護者の声】 保護者の方から、「仕事を調整して親も参加したい」と言われるようになった。

【スタッフの声】 子どもたちから「ハイキング」などお出かけしたいとリクエストがある。スタッフの人数がいるが、地域ボランティアの協力を得て年に一回ぐらい計画したいと思う。

長浜市 土曜学び座 湖北地区(速水・小谷・朝日小学校区)

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	24日
	—	●		—	●		0日	19日	長期休暇日数	5日

教室の実施場所

湖北公民館(厨房・会議室・工房・和室)
湖北文化ホール

参加対象学年・参加人数

【対象】 1～6年生
【参加人数】 平日 (0)人
土日・祝日 (612)人
長期休暇 (89)人

活動内容

・造形あそび教室(公民館教室で自主事業)
毎月第1土曜日開催。
4月 フィルムケースを使ってはんこ
5月 テラコッタ粘土を使って自分の顔をつくる
7～9月 マーブリング絵の具などを使って色の
重なりを楽しむ
10月 指先に絵の具をつけて描く
11月 ちぎり絵「〇〇がいっぱい」
12月 パチックあそび
1月 スチレン版画



・土曜学び座
毎月1回開催。
4月「からだをうごかそう」 5月「おかしDEアート」
6月「ちりめんモンスターをさがせ」
7月「牛乳を知ろう」
8月「なつECOカレーをつくろう」
9月「折り紙で秋をかざろう」
10月「粘土でフォトフレームを作ろう」
11月「妖怪になんかようかい」
12月「肉まんであったまろう」
1月「よさこいをおどろう」
2月「チョコレートのお菓子をつくろう」
3月「震災を考えよう」



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】 特になし

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	3	—	—	1
登録者数	5	—	2	6

安全管理・配慮事項

【送迎】 原則保護者の送迎をお願いしているが、近所の子は自転車で来るときもある。帰り際、保護者さんに子どもを引き渡しているが、併設施設で待つように言われている子は勝手に帰ってしまい不安に思うことがある。

【緊急対応】 職員が普通救命講習を受講している。救急箱・AED装置を常備している。連絡先は周知している。

【配慮の必要な子どもへの対応】 必要場合は保護者から対応方法を聞いておく。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

連携している機関

【学校】 課題があれば連絡をとる。

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 地域で活躍されている方・団体を講師に依頼する。

【企業・大学】 出前講座を依頼する企業がある。

【その他】 無し

事業を実施して

【成果と課題】・2年目となり、参加者が定着してきて、学校以外の交流の場となっている。・高学年の参加は少ないが、参加してくれると低学年の子たちを指導してくれる。・速水小学校の児童が多く、他校間どうしの交流が少ないのは残念。・どの事業でも高学年の参加が少ない。

【子どもの声】 毎回楽しみ。友達と会えるのが嬉しい。

【保護者の声】 家や学校でできない体験ができるので子どもが喜んでいる。

【スタッフの声】 低学年の子どもたちが多いので、調理には気を遣う。子どもたちが楽しそうに活動しているとこちらも楽しくなる。

長浜市 土曜学び座 高月地区 (高月・古保利・七郷・富永小学校区)

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	20 日
	—	●		—	●		0日	20日	長期休暇日数	0 日

教室の実施場所

長浜市立高月公民館

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学校1年～6年生
【参加人数】 平日 (—)人
土日・祝日 (530)人
長期休暇 (—)人

活動内容

①マグネットホルダー作り ②きり絵教室 ③牛乳パックペン立て ④ラーメンを食べて出前環境教育 ⑤飯盒炊爨とカレー食事会



⑥子ども模型飛行機教室 ⑦めざせ漫画の達人 ⑧作った弓矢で射会を楽しもう ⑨クラフトマフラーを作ろう ⑩オリジナル時計作り ⑪マカロニでクリスマスリースを作ろう ⑫石鹸デコパージュ ⑬そば打ち体験と会食



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
・高月地域内を中心に活動実績のある方を招聘

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	—	—	3	2
登録者数	—	—	—	—

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる

連携している機関

【学校】 地域内4小学校

【学校支援地域本部】 —

【児童クラブ】 —

【地域】 —

【企業・大学】 日本航空協会 大阪ガス

【その他】 高月図書館

安全管理・配慮事項

【送迎】
・全て保護者(祖父母)等による送迎

【緊急対応】
・住所、緊急連絡先の掌握 ・AED取扱講習(スタッフ)

【配慮の必要な子どもへの対応】
・事前の申し出により担当者の確保

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

事業を実施して

【成果と課題】 参加学年等に偏りがあった。

【子どもの声】 友達と活動できた。他の学校の人と友達になれた

【保護者の声】 親も付き添って一緒に楽しめた

【スタッフの声】 教えながら多くの事が学べた。

長浜市 土曜学び座 木之本地区（木之本・伊香具・高時・杉野小学校区）

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	18日
	—	●		—	●		0日	17日	長期休暇日数	1日

教室の実施場所

公立木之本公民館

参加対象学年・参加人数

【対 象】 1～6年
【参加人数】 平日 (0)人
土日・祝日 (144)人
長期休暇 (13)人

活動内容

毎月2回を基本として、そのうち1回をキッズアートグループの協力得て実施、テーマとして自由に描く・作る・表現することでアートの力で自分自信を大切にする心・仲間を思いやる心を育んでいます。

もう1回は、紙・自然・布・糸・お菓子作り・陶芸などを実施しています。

スイーツストラップをつくりましょう とびだすカードをつくりましょう ミサンガをつくりましょう マグネットクリップをつくりましょう なめらかプリンをつくりましょう



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】 無し

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	1	0, 5	—	1～2
登録者数	—	—	—	—

連携している機関

【学校】 無し

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 無し

【企業・大学】 無し

【その他】 無し

安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者が送迎

【緊急対応】 公民館で救急処置をし、保護者に連絡

【配慮の必要な子どもへの対応】 無し

◎特別支援学級(学校)の子ども参加()人

事業を実施して

【成果と課題】 内向的な子どもが、少し積極的になっている。地域が広く、公民館から遠い小学校区からの参加が少ない。

【子どもの声】 楽しみにしている。

【保護者の声】 少しでも、他の人と交流ができてうれしい。

【スタッフの声】 おとなしい子どもの参加が多いとともに、参加者が固定化している。地域のボランティア発掘が必要。

長浜市

土曜学び座

余呉小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	20日
	—	●		—	●		0日	20日	長期休暇日数	0日

教室の実施場所

余呉文化ホール

参加対象学年・参加人数

【対象】 小学生1～6年
 【参加人数】 小学生のべ 250人
 【長期休暇参加人数】 0人

活動内容

4月 「ふるさとウォーキング」「ハートフルシアター」
 5月 「レッツ・クッキング」「塗り絵遊び」
 6月 「煎茶茶道を学ぶ」「ふるさとウォーキング」
 7月 「ニューススポーツを学ぼう」
 8月 「マグネットクリップ」
 9月 「ちぎり絵にチャレンジじゃ！」
 10月 「クラフトマフラー」「アートバルーン」
 11月 「石ころアート」「紙工作で遊ぼう」
 12月 「うどん作りまっせ～！」「ボンボンマスコット」
 1月 「万華鏡作りますよ～」



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
 無し
 参加の保護者が協力

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	—	—	2	1
登録者数	—	—	—	—

※ボランティア・講師が安全管理員を兼ねる

連携・その他

【学校】 毎月チラシ配布、参加申込書回収箱を依頼。

【学校支援本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 地域行事や園、小学校との調整。

【企業・大学】 無し

【その他】 青少年育成、社協との連携。

安全管理・配慮事項

【送迎】
 原則として保護者で送迎。毎月チラシに、その事を掲載。
 【緊急対応】 「土曜学び座安全マニュアル」に基づき対応。
 【配慮の必要な子どもへの対応】
 無し

事業を実施して

【成果と課題】 学年枠を越えたつながり、興味と意欲の向上
 年齢差による内容の難度、高学年の参加
 遅刻・早退等の問題、マナーなど・・・。

【子どもの声】 「楽しかった～！」

【保護者の声】 「毎回、楽しみにしています。」

【スタッフの声】 「次は、何をするべ！」

あっと驚く企画・内容の充実。
 （共に学び・共に楽しむ、魅力ある内容。）
 まだまだ、努力が必要です。

長浜市 土曜学び座 西浅井地区 (塩津・永原小学校区)

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	21日
	—	●		—	●		0日	21日	長期休暇日数	0日

教室の実施場所

西浅井公民館

参加対象学年・参加人数

【対象】 小学生1年～6年 及び保護者
 【参加人数】 平日 (0)人
 土日・祝日 (217)人
 長期休暇 (0)人

活動内容

・親子書道教室～毎月第2土曜日に開催。
 滋賀県書道協会テキスト書の友、書朋に沿って、毛筆・硬筆の指導を受けています。親子でそれぞれ毎月作品を提出される方もいます。西浅井文化展覧会、伊香美術展覧会へも出品。



西浅井文化展覧会

- ・グラスデコを楽しもう
- ・デコカップケーキをつくろう
- ・ちぎり絵にちょうせんしよう
- ・西浅井文化祭クラフト体験コーナー



ちぎり絵にちょうせんしよう



西浅井文化祭クラフト体験コーナー

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】 無し

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	2	—	1	1
登録者数	—	—	—	—

連携している機関

【学校】 塩津・永原小学校～チラシ配布、申込受け付
 【学校支援地域本部】 無し
 【児童クラブ】 無し
 【地域】 無し
 【企業・大学】 無し
 【その他】

安全管理・配慮事項

【送迎】 基本的に保護者の送迎。

【緊急対応】 土曜学び座安全管理マニュアルに基き対応

【配慮の必要な子どもへの対応】 無し

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加 (0)人

事業を実施して

【成果と課題】 土曜学び座が少しずつ定着してきて、毎回参加してくれる子もいます。子どもたちの楽しい居場所として興味深い講座を企画していきたい。

【子どもの声】 「楽しかった」と声をかけてくれたり、出来上がった作品などをうれしそうに持って帰ってくれる。

【保護者の声】 「近くでもの作りなどの体験をしてもらえてありがたい」など、興味深く見守って下さっている。

【スタッフの声】 土曜学び座を通して、子どもたちや保護者の方々により多く公民館に来て下さるよう努めていきたい。

草津市

草津市放課後子どもひろば
推進運営委員会

連絡先

草津市教育委員会事務局 生涯学習課

TEL 077-561-2427

FAX 077-561-2488

E-mail shogaku@city.kusatsu.lg.jp

1 運営委員会組織

委員数 (6) 人

構成委員 (所属・役職名)

志津地区自治連合会会長、放課後子どもひろばサポーター (2 名)、放課後子どもひろば登録児童保護者 (1 名)、草津第二小学校校長、草津市子ども家庭部子育て支援センター職員 (1 名)

2 運営委員会の協議内容

回	実施日	参加人数	協議内容
1	平成23年 7月22日	6人	○平成23年度草津市放課後子どもひろば応募人数およびサポーター登録の報告について ○平成23年度 (5月～7月まで) 草津市放課後子どもひろば事業実施状況の報告と今後の事業実施予定について ○放課後子どもひろば事業についての意見交換
2	《未定》		《未定》

3 広報

- ・参加児童募集については、小学校を通じて全児童の保護者に募集チラシを配布した。
- ・活動内容の広報については、2か月ごとに予定表を作成し、参加児童保護者、サポーター、放課後子どもひろば開催小学校、開催小学校区の学童保育所へ配付している。

4 連携している関係機関、団体 (学校・地域・企業)、指導者および連携・協力内容

- ・小学校・・・欠席者の連絡や場所の提供など運営面で協力してもらっている。
- ・図書ボランティア・・・毎回、本の読み聞かせをしてもらっている。
- ・体育指導委員・・・月1回、ニュースポーツの指導をもらっている。
- ・草津市学習ボランティア・・・特別事業やサポーター研修会の講師をもらっている。

5 スタッフの研修・ミーティングなど

<研修会> 『小学生を対象にした集団遊びの紹介、サポーターが遊びのリーダーになる実践方法』

『小学生の活動中に起こり得るケガの応急処置について』【対象：サポーター】 (年1回)

<サポーター打合せ会> 『プログラムについて』【対象：サポーター】 (月1回)

草津市 志津小学校放課後子どもひろば（志津小学校区）

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	30日
	●			●	●		30日	—	長期休暇日数	0 日

教室の実施場所

○志津小学校体育館

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学生1～6年

【参加人数】 平日 のべ(1110)人

活動内容



【活動内容】

①受付(出席確認) ②宿題 ③本の読み聞かせ ④準備体操 ⑤自由あそび(ドッジボール、バドミントン、バスケットボール、大縄跳び、鬼ごっこ、折り紙、ぬりえ、オセロ、トランプなど)

◇月1回ニュースポーツ(ボール運びリレー、じゃんけんゲーム、囲碁ボール、スポーツビンゴなど)

◇月1回全体遊び(しっぽとり、障害物リレー、クリスマスリース作りなど)

◇体験教室(バルーンアート)を12月に開催。

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

前年度から継続して参加していただいている。参加児童の保護者へサポーター募集案内のチラシを配布。サポーターからの紹介。近隣大学のボランティアセンターへ団体登録など。

【スタッフ配置人数】

	サポーター	ボランティア	講師
1日あたり	10	—	1～2
登録者数	14	—	—

連携している機関

【学校】 参加者の把握をし、分団下校時の調整や、緊急時の対応に協力してもらっている。

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 なし

【企業・大学】 近隣大学のボランティアセンターを通じて大学生のスタッフを募集している。(今年度は登録なし)

【その他】・図書ボランティアへ本の読み聞かせを依頼している。(5月～2月)・体育指導委員へニュースポーツや集団遊びの指導を依頼している。(9月～2月)・草津市学習ボランティアへ体験教室の講師を依頼している。

安全管理・配慮事項

【送迎】

3年生までは学校敷地内の集合場所へ迎えに行く。4年生以上は自分で体育館へ集合する。帰りは全員、保護者の迎えを基本にしている。

【緊急対応】

市で安全管理マニュアルを作成している。救急箱、非常時用の水を用意している。

【配慮の必要な子どもへの対応】

申込受付時に保護者へ必要な配慮について確認し、内容についてサポーター間で共有している。

◎特別支援学級(学校)の子どもへの参加(なし)

事業を実施して

【成果と課題】 サポーターのアイデアで、全体遊びに取り組む機会が増え、プログラムの内容が充実した。

【子どもの声】 上の学年との関わりがあるので色々な遊びを教えてもらえてうれしい。バルーンアートが楽しかった。近所に友だちがいないので子どもひろばに来るとすごく楽しい。

【保護者の声】 いつも楽しく参加し、どんなことをして遊んだか話をしてくれている。保護者同士の交流もできてよかった。

【スタッフの声】 子どもの成長が感じられうれしく思う。中には何をしたらいいかわからないという子どもがいるので、そういう子どもにも応えてあげたい。子どもが喜ぶことを考え、体験させてあげたい。

草津市 草津第二小学校放課後子どもひろば (草津第二小学校区)

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	30 日
	●			●	●	開催日数	30日	—	長期休暇日数	0 日

教室の実施場所

○草津第二小学校体育館

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学生1～6年

【参加人数】 平日 のべ(1002)人

活動内容



【活動内容】

①受付(出席確認) ②宿題 ③本の読み聞かせ ④準備体操 ⑤自由あそび(ドッジボール、バドミントン、バスケットボール、大縄跳び、鬼ごっこ、折り紙、ぬりえ、オセロ、トランプなど)

◇月1回ニュースポーツ(ボール運びリレー、じゃんけんゲーム、パフリングなど)

◇保護者参加日を11月に開催(内容・普段の様子を見学しながら、自由に遊びに参加してもらった)

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

前年度から継続して参加していただいている。サポーターからの紹介。近隣大学ボランティアセンターへ団体登録など。

【スタッフ配置人数】

	サポーター	ボランティア	講師
1日あたり	11	—	1～2
登録者数	17	—	—

連携している機関

【学校】 参加者の把握をし、分団下校時の調整や、緊急時の対応に協力してもらっている。

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 なし

【企業・大学】 近隣大学のボランティアセンターを通じて大学生のスタッフを募集している。(今年度は2名登録)

【その他】・図書ボランティアへの読み聞かせを依頼している。(5月～2月)・健康推進員へ体操の指導を依頼している。(5月6月)・体育指導委員へニュースポーツや集団遊びの指導を依頼している。(9月～2月)

安全管理・配慮事項

【送迎】

全学年(1年生は11月から)放課後、直接体育館へ集合する。帰りは全員、保護者の迎えを基本にしている。

【緊急対応】

市で安全管理マニュアルを作成している。救急箱、非常時の水を用意している。

【配慮の必要な子どもへの対応】

申込受付時に保護者へ必要な配慮について確認し、内容についてサポーター間で共有している。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(なし)

事業を実施して

【成果と課題】 今年度から学習の時間を設けたことで宿題を済ませてから遊ぶという習慣ができた。

【子どもの声】 遊び道具がいっぱいあってうれしい。遊んでくれる人(サポーター)がいっぱいいて楽しい。

【保護者の声】 体を動かして遊べる機会が少ないが、子どもひろばでは汗をかきながら思いきり体を動かして遊んでいるのでうれしく思う。本人も楽しく参加している。

【スタッフの声】 子どもたちが自由にのびのびと遊び、学年の違う子ども同士が遊べる場所がいい。子どもたちの成長がみられ、うれしく思う。

栗東市

栗東市地域教育協議会

連絡先

栗東市教育委員会 生涯学習課

TEL 077-551-0496

FAX 077-552-5544

E-mail syogaigakusyu@city.ritto.lg.jp

1 運営委員会組織

委員数 (15) 人

構成委員 (所属・役職名)

各学区地域教育協議会またはふれあい子ども広場スタッフ、学童保育所、校長会
PTA連絡協議会、民生委員児童委員協議会、社会教育委員、幼児課、学校教育課

2 運営委員会の協議内容

回	実施日	参加人数	協議内容
1	平成23年 8月31日(水)	12人	平成22年度「放課後子ども教室」推進事業報告及び決算 平成23年度「放課後子ども教室」推進事業計画及び予算 「放課後子ども教室」の現状 「放課後児童健全育成事業」との連携
2	平成23年3月		平成23年度「放課後子ども教室」の実施結果について 平成23年度「放課後子ども教室」のアンケート結果 次年度「放課後子ども教室」推進事業について 「放課後児童健全育成事業」との連携

3 広報

募集チラシを中央公民館や各コミュニティセンターに設置。

参加者の募集チラシを各小学校へ配布。

コミュニティセンター広報誌に支援者募集を掲載

4 連携している関係機関、団体（学校・地域・企業）、指導者および連携・協力内容

- ・ コミュニティセンターが、地域の支援者と栗東市地域教育協議会事務局・コーディネーターとのパイプ役、地域の支援者の相談役となっているところもある。
- ・ 民生委員児童委員や体育指導委員が安全管理員として登録している。
- ・ 各小学校とは体育館の使用、備品の貸し出しや備品を置くスペースの提供、参加児童への呼びかけ、次月案内文を月末に手渡ししているので欠席した参加者へ学校から渡してもらうことなどで協力してもらっている。
- ・ 放課後児童クラブの児童が放課後子ども教室に遊びに来る(現在1回実施)
- ・ 学童保育指導者への研修会への参加の呼びかけ

5 スタッフの研修・ミーティングなど

<研修会 2月2日(木)予定>①障がい理解(発達障がい)②遊びの実習

対象:安全管理員、学童保育指導者

<ミーティング>月に一度程度、安全管理員が集まり活動内容について話し合う教室がある。

栗東市 葉山ふれあい子ども広場 葉山小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	10日
	●	—		●	—		10日	0日	長期休暇日数	0日

教室の実施場所

葉山小学校体育館

参加対象学年・参加人数

【対象】1～6年生

【参加人数】 平日 (20)人
 土日・祝日 (0)人
 長期休暇 (0)人

活動内容



バドミントン



ボール遊び

【スケジュール】

①出席確認 ②宿題 ③自由遊び ④お迎え

空き教室で宿題をした後、体育館へ移動し自由遊び。
 縄跳び・ボール投げ・折り紙・クラフト・バスケットなど子どもたちが自由に選択し遊ぶ。

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

地域の方々・保護者に声をかけ参加してもらっている。参加している地域の方に誘われて、来てくれる方もいる。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	2	—	—	—
登録者数	5	—	—	—

連携している機関

【学校】 学校と体育館の調整や緊急時の協力などしてもらう話をしている。月末に次月の案内文を手渡ししているので欠席者がいたら学校から渡してもらうようにしている。

【学校支援地域本部】なし

【児童クラブ】 体育館でいっしょに活動する(実施数1回)

【地域】 なし

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者の迎えが参加条件になっている

【緊急対応】

参加者の保護者に活動中いつでも携帯電話などへの連絡がつく状態にしている。怪我をしたときは先生に協力してもらったり、学校の保健室で対応を依頼することもある。安全管理マニュアル・救急箱を用意。

【配慮の必要な子どもへの対応】

参加なし
 ◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

事業を実施して

【成果と課題】 異学年の子どもたちとの関わりができる。参加児童にとって楽しい居場所となっている。継続的な活動となるように地域の取り組みとして協力者を増やし、スタッフ一人当たりの負担を減らしていく必要がある。

【子どもの声】おじいさん、お兄さんと遊ぶのが楽しい。

【保護者の声】楽しみに待っています。

【スタッフの声】スタッフが不足しているのでスタッフを集める必要がある。

栗東市 葉山東ふれあい子ども広場 葉山東小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	31 日
	●	●		●	●		31日	0日	長期休暇日数	0日

教室の実施場所

葉山東小学校体育館
コミュニティセンター葉山東

参加対象学年・参加人数

【対 象】1～6年生
【参加人数】 平日 (1800)人
土日・祝日 (0)人
長期休暇 (0)人

活動内容



スポーツ バドミントン



クラフト 折り紙



囲碁・将棋

【スケジュール】

①出席確認 ②宿題 ③囲碁・将棋、クラフト、スポーツ ④お迎え

3グループに分かれて実施。「囲碁・将棋」「クラフト」はコミュニティセンター葉山東、「スポーツ」は体育館で行う。「囲碁・将棋」は初心者向けの基礎、「クラフト」は折り紙、塗り絵、手芸など、「スポーツ」はドッジボール・縄跳び・バドミントン・卓球などを子どもたちが自由に選択し遊ぶ。上級生は下級生のまとめ役をもらう。学期末に全員でお楽しみ会を開きグループ変えをする。

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

地域の方々・保護者に声をかけ参加してもらっている。参加している地域の方に誘われて、来てくれる方もいる。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	8	-	1	-
登録者数	11	-	1	-

連携している機関

【学校】 学校と体育館の調整や緊急時の協力などしてもらっている。月末に次月の案内文を手渡ししている。欠席者がいたら学校から渡してもらうようにしている。

【学校支援地域本部】なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 民生委員・体育指導員の方が参加してくれている。コミュニティセンターと連携してスタッフとの仲介・道具の保管などしてもらっている。

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者の迎えが参加条件になっている

【緊急対応】

参加者の保護者に活動中いつでも携帯電話などへの連絡がつく状態にしている。怪我をしたときは先生に協力してもらったり、学校の保健室で対応を依頼することもある。安全管理マニュアル・救急箱を用意。

【配慮の必要な子どもへの対応】

参加なし
◎特別支援学級(学校)の子ども参加(0)人

事業を実施して

【成果と課題】 異学年の子どもたちとの関わりができ、年上の子どもはまとめ役をすることでリーダーの役割を学んでいる。地域の子どもを地域で育てる取り組みとなってきた。継続的な活動となるように地域の取り組みとして協力者を増やし、スタッフ一人当たりの負担を減らしていく必要がある。

【子どもの声】新しい友達ができた。

【保護者の声】子どもが楽しそう。

【スタッフの声】安全管理に気をつけて楽しく活動させたい。

栗東市 はるたっこ広場 治田小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	25 日
	●	●		●	●	開催日数	25日	0日	長期休暇日数	0日

教室の実施場所

治田小学校体育館・コミュニティーセンター治田

参加対象学年・参加人数

【対 象】1～6年生

【参加人数】 平日 (1700)人
 土日・祝日 (0)人
 長期休暇 (0)人

活動内容



おもいきり体を動かそう



お絵かき

【スケジュール】

①出席確認 ②宿題 ③ラジオ体操 ④自由遊び ⑤お迎え

授業終了時間が早い低学年はコミュニティーセンター治田に集まる。体育館が空いたら移動。
 主に縄跳び・バトミントン・ボール投げ・折り紙・クラフトなどを子どもたちが自由に選択し遊ぶ。
 スタッフの考えた遊びや季節の催し(七夕・クリスマスなど)も計画して取り入れている。

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

地域の方々・保護者に声をかけ参加してもらっている。参加している地域の方に誘われて、来てくれる方もいる。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	7	-	-	-
登録者数	11	-	-	-

安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者の迎えが参加条件になっている

【緊急対応】

参加者の保護者に活動中いつでも携帯電話などへの連絡がつく状態にしている。怪我をしたときは先生に協力してもらったり、学校の保健室で対応を依頼することもある。安全管理マニュアル・救急箱を用意。

【配慮の必要な子どもへの対応】

参加なし

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

連携している機関

【学校】 学校と体育館の調整や緊急時の協力などしてもらおう話をしている。月末に次月の案内文を手渡ししているので欠席者がいたら学校から渡してもらおうようにしている。

【学校支援地域本部】なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 民生委員の方が参加してくれている。コミュニティーセンターと連携してスタッフとの仲介・道具の保管、部屋の使用などしてもらっている。

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

事業を実施して

【成果と課題】 異学年の子どもたちとの関わりができ、年上の子どもはまとめ役をすることでリーダーの役割を学んでいる。地域の子どもを地域で育てる取り組みとなってきた。継続的な活動となるように地域の取り組みとして協力者を増やし、スタッフ一人当たりの負担を減らしていく必要がある。

【子どもの声】 新しい友達ができた。

【保護者の声】 異学年と交流でき、体を動かさせられるというよい点があるのでこれからも続けてほしいです。

【スタッフの声】 子どもたちが安心して楽しく遊べる場になればいい。

栗東市 チャレンジはるひがっこ広場 治田東小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	25 日
	●	●		●	●		24日	0日	長期休暇日数	1日

教室の実施場所

治田東小学校体育館・コミュニティーセンター治田東

参加対象学年・参加人数

【対 象】1～6年生

【参加人数】 平日 (750)人
 土日・祝日 (0)人
 長期休暇 (20)人

活動内容



ボール遊び



宿題もやって遊ぶぞ

【スケジュール】

①出席確認 ②宿題 ③ラジオ体操 ④自由遊び ⑤お迎え

主に縄跳び・バトミントン・ボール投げ・折り紙・クラフトなどを子どもたちが自由に選択し遊ぶ。上級生は下級生のまとめ役をもらう。季節の催し(七夕・クリスマスなど)も計画して取り入れ、もちつき、巻き寿司づくりも実施。

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

地域の方々・保護者に声をかけ参加してもらっている。参加している地域の方に誘われて、来てくれる方もいる。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	5	-	-	-
登録者数	10	-	-	-

連携している機関

【学校】 学校と体育館の調整や緊急時の協力などしてもらっている。月末に次月の案内文を手渡ししているので欠席者がいたら学校から渡してもらうようにしている。

【学校支援地域本部】なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 民生委員の方が参加してくれている。コミュニティーセンターと連携してスタッフとの仲介・道具の保管、部屋の使用などしてもらっている。

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者の迎えが参加条件になっている

【緊急対応】

参加者の保護者に活動中いつでも携帯電話などへの連絡がつく状態にしている。怪我をしたときは先生に協力してもらったり、学校の保健室で対応を依頼することもある。安全管理マニュアル・救急箱を用意。

【配慮の必要な子どもへの対応】

参加なし

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

事業を実施して

【成果と課題】 異学年の子どもたちとの関わりができ、年上の子どものまとめ役をすることでリーダーの役割を学んでいる。地域の子どもの地域で育てる取り組みとなってきた。継続的な活動となるように地域の取り組みとして協力者を増やし、スタッフ一人当たりの負担を減らしていく必要がある。

【子どもの声】 新しい友達ができた。

【保護者の声】 近所のおじいさんと知らない間に仲良くなっている。体を動かせるというよい点があるのでこれからも続けてほしいです。

【スタッフの声】 保護者も積極的に参加してもらえようになりたい。

栗東市 治西のびのび広場 治田西小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	20 日
	●	●		●	●		16日	0日	長期休暇日数	4日

教室の実施場所

治田西小学校体育館
コミュニティセンター治田西

参加対象学年・参加人数

【対 象】1～6年生
【参加人数】 平日 (2000)人
土日・祝日 (0)人
長期休暇 (150)人

活動内容



コマを教えてもらっています



カルタ

【スケジュール】

①出席確認 ②活動 ③お迎え・分団下校・地域のかたと帰宅

活動は体験活動を隔週で行う。体育館でゲーム、お正月遊び、工作、季節に合わせた催し、平和学習、地域の祭りで合唱の発表などを行う。

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

地域の方々・保護者に声をかけ参加してもらっている。参加している地域の方に誘われて、来てくれる方もいる。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	9	-	-	-
登録者数	17	-	-	-

連携している機関

【学校】 児童への開催案内作製・配布
活動の計画立案

【学校支援地域本部】なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 民生委員の方が参加してくれている。コミュニティセンターと連携してスタッフとの仲介・道具の保管・部屋の使用などしてもらっている。

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者のお迎え、分団下校、地域の方が付き添って帰宅する方法をとっている。

【緊急対応】

参加者の保護者に活動中いつでも携帯電話などへの連絡がつく状態にしている。怪我をしたときは先生に協力してもらったり、学校の保健室で対応を依頼することもある。安全管理マニュアル・救急箱を用意。

【配慮の必要な子どもへの対応】

保護者・先生がついてくれている。
◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(3)人

事業を実施して

【成果と課題】 異学年の子どもたちとの関わりができ、年上の子どもはまとめ役をすることでリーダーの役割を学んでいる。学校・地域・保護者が連携して子どもを育てる取り組みとなってきた。継続的な活動となるように地域の取り組みとして協力者を増やし、スタッフ一人当たりの負担を減らしていく必要がある。

【子どもの声】 新しい友達ができた。

【保護者の声】 異学年との交流ができ、新しい体験のできる場所は大切だと思います。

【スタッフの声】 子どもが成長していくのを感じることができる。

栗東市 大宝わくわくタイム 大宝小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	21 日
	●	●		—	●	開催日数	21日	0日	長期休暇日数	0日

教室の実施場所

大宝小学校体育館

参加対象学年・参加人数

【対 象】1～3年生

【参加人数】 平日 (1000)人
 土日・祝日 ()人
 長期休暇 ()人

活動内容



ドッジボール



いろいろ教えて！

【スケジュール】

①出席確認 ②宿題 ③ラジオ体操 ④メニュー遊び ⑤ドッジボール ⑥お迎え

紙飛行機、七夕飾り・クリスマスリース作りなど季節に関係する工作やじゃんけんリレー、グラスゴルフ、大玉ころがしなどの運動を子どもたちの要望をもとにスタッフで計画し実施。秋は小学校近くの神社に木の実や紅葉を拾いに行った。上級生は下級生のまとめ役をしてもらう。

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

地域の方々・保護者に声をかけ参加してもらっている。参加している地域の方に誘われて、来てくれる方もいる。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	10	—	—	—
登録者数	13	—	—	—

連携している機関

【学校】 学校と体育館の調整や緊急時の協力などしてもらっている。月末に次月の案内文を手渡ししているので欠席者がいたら学校から渡してもらうようにしている。

【学校支援地域本部】なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 民生委員の方が参加してくれている。コミュニティセンターと連携してスタッフとの仲介・道具の保管などしてもらっている。

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者の迎えが参加条件になっている

【緊急対応】

参加者の保護者に活動中いつでも携帯電話などへの連絡がつく状態にしている。怪我をしたときは先生に協力してもらったり、学校の保健室で対応を依頼することもある。安全管理マニュアル・救急箱を用意。

【配慮の必要な子どもへの対応】

安全管理員が近くにいる。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(2)人

事業を実施して

【成果と課題】 異学年の子どもたちとの関わりができ、年上の子どもはまとめ役をすることでリーダーの役割を学んでいる。地域の子どもを地域で育てる取り組みとなってきた。継続的な活動となるように地域の取り組みとして協力者を増やし、スタッフ一人当たりの負担を減らしていく必要がある。

【子どもの声】ドッジボールが楽しい。友達が新しくできた。

【保護者の声】これからも続けてほしいです。

【スタッフの声】 子どもにとって楽しく安全であるようにしたい。

栗東市 さんさんキッズ 大宝東小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	24日
	●	—					24日	0日	長期休暇日数	0日

教室の実施場所

大宝東小学校 体育館・コミュニティルーム

参加対象学年・参加人数

【対象】 1～3年生

【参加人数】 平日 (1000)人
 土日・祝日 (0)人
 長期休暇 (0)人

活動内容



ラジオ体操



子どもと地域のかたがいっしょにボール遊び

【スケジュール】

①出席確認 ②宿題 ③ラジオ体操 ④自由遊び⑤お迎え

体育館でドッジボール・バスケット・フラフープ・縄跳び・ボール遊び、コミュニティルームで本読み・折り紙・お絵かきなど子どもたちが自由に選択し遊ぶ。

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

地域の方々・保護者に声をかけ参加してもらっている。参加している地域の方に誘われて、来てくれる方もいる。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	10	—	—	—
登録者数	17	—	—	—

連携している機関

【学校】 学校と体育館の調整や緊急時の協力などしてもらおう話をしている。月末に次月の案内文を手渡ししているので欠席者がいたら学校から渡してもらうようにしている。

【学校支援地域本部】なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 民生委員の方が参加してくれている

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者の迎えが参加条件になっている

【緊急対応】

参加者の保護者に活動中いつでも携帯電話などへの連絡がつく状態にもらっている。怪我をしたときは学校の保健室で対応を依頼することもある。安全管理マニュアル・救急箱を用意。

【配慮の必要な子どもへの対応】

参加なし

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加 (0)人

事業を実施して

【成果と課題】 異学年の子どもたちとの関わりができ、年上の子どもはまとめ役をすることでリーダーの役割を学んでいる。地域の子どもの地域で育てる取り組みとなってきた。継続的な活動となるように地域の取り組みとして協力者を増やし、スタッフ一人当たりの負担を減らしていく必要がある。

【子どもの声】おじいさん、おばあさんと遊ぶのが楽しい。

【保護者の声】これからも続けてほしい。

【スタッフの声】 さんさんキッズにまた来たいと思ってもらえたらうれしい。

栗東市 大宝西ふれあい子ども広場 大宝西小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	30 日
	●	●		●	●	開催日数	30日	0日	長期休暇日数	0日

教室の実施場所

大宝西小学校体育館
コミュニティーセンター大宝西

参加対象学年・参加人数

【対 象】1～4年生
【参加人数】 平日 (650)人
土日・祝日 (0)人
長期休暇 (0)人

活動内容



縄跳び



集合！大事な話だよ

【スケジュール】

①出席確認 ②宿題 ③自由遊び④お迎え

主に縄跳び・バトミントン・ボール投げ・折り紙・クラフトなどを子どもたちが自由に選択し遊ぶ。
季節の催し(七夕・クリスマスなど)、平和学習、お菓子作りなども取り入れている。上級生は下級生のまとめ役をもらう。

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

地域の方々・保護者に声をかけ参加してもらっている。参加している地域の方に誘われて、来てくれる方もいる。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	10	-	-	-
登録者数	14	-	-	-

連携している機関

【学校】 学校と体育館の調整や緊急時の協力などしてもらおう話をしている。月末に次月の案内文を手渡ししているので欠席者がいたら学校から渡してもらうようにしている。

【学校支援地域本部】なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 民生委員の方が参加してくれている。コミュニティーセンターと連携してスタッフとの仲介・参加者の欠席連絡などしてもらっている。部屋を借りている。

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者の迎えが参加条件になっている

【緊急対応】

参加者の保護者に活動中いつでも携帯電話などへの連絡がつく状態にしている。怪我をしたときは先生に協力してもらったり、学校の保健室で対応を依頼することもある。安全管理マニュアル・救急箱を用意。

【配慮の必要な子どもへの対応】

参加なし
◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

事業を実施して

【成果と課題】 異学年の子どもたちとの関わりができ、年上の子どもはまとめ役をすることでリーダーの役割を学んでいる。地域の子どもを地域で育てる取り組みとなってきた。継続的な活動となるように地域の取り組みとして協力者を増やし、スタッフ一人当たりの負担を減らしていく必要がある。

【子どもの声】新しい友達ができた。

【保護者の声】これからも続けていってほしいです。

【スタッフの声】新しい体験をいろいろさせてあげたい。安全面も気をつけたい。

甲賀市

甲賀市放課後子どもプラン運営委員会

連絡先

甲賀市教育委員会 社会教育課

TEL 0748-86-8021

FAX 0748-86-8380

E-mail koka612000@city.koka.lg.jp

1 運営委員会組織

委員数 (11) 人

構成委員 (所属・役職名)

放課後児童クラブ関係者、社会教育委員、PTA 役員、民生委員児童委員、主任児童委員、
学校関係者、行政職員

2 運営委員会の協議内容

回	実施日	参加人数	協議内容
1	3月実施予定		実績報告と次年度の予定

3 広報

小学校を通じ募集チラシの配布

自治会に開催のお知らせ

4 連携している関係機関、団体（学校・地域・企業）、指導者および連携・協力内容

特になし

5 スタッフの研修・ミーティングなど

自然体験活動担当職員研修

①体験活動の適時性～どの時期にどの体験をすれば効果的か～

②事業実施における責任体制と書類の作成

③野外等における危険要素～応急手当から救急処置まで～

④子どもたちの安全な自然体験活動の実施に向けて(実技研修)

～アイスブレイク、危険予知トレーニング、野外炊飯等～

⑤子どもたちの安全な自然体験活動の実施に向けて(実技研修)

～アイスブレイク、危険予知トレーニング、着衣泳法等～

⑥甲賀市青少年活動安全誓いのつどい「人が守る安全」

⑦救命救急と野外調理(実技研修)

甲賀市水口子ども教室 水口・綾野・柏木・貴生川・伴谷・岩上小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	21日
	—	●		—	●	開催日数	0日	15日	長期休暇日数	6日

教室の実施場所

水口中央公民館・柏木公民館・貴生川公民館・
伴谷公民館・岩上公民館・水口体育館・
かふか生涯学習館・他

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学生1～6年
【参加人数】 平日 (37)人
土日・祝日 (221)人
長期休暇 (71)人

活動内容

《親子ふれあい講座》
・親子でふれあい運動
・土星の環を見てみよう
・水辺の生き物について
・親子でクッキング
・図書館でおはなし会



《子ども公民館講座》
・道具を使ってものづくり
・クッキング
・窯元見学
・カラーリング
・ラーメン博士



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
各区ヘチランを全戸配布・小学校ヘチランを配布

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	3	—	—	1
登録者数	—	—	—	—

安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者に送迎をしていただいている。

【緊急対応】
スタッフは、普通救命講習を修了。AED・救急箱を用意。
保護者から緊急連絡先を聞いておき、連絡をとる。安全
対策マニュアルを作成し、スタッフ間で共有する。館外事業
については下見を実施。
【配慮の必要な子どもへの対応】
保護者からの聞き取りを行う。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加()人
把握していない

連携している機関

【学校】 無し

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 地域のサークルから講師を紹介してもらう。

【企業・大学】 無し

【その他】 無し

事業を実施して

【成果と課題】
・4～6年生の参加者が少ない。
・講座参加者と講座に参加していない者のニーズ(講座で実施し
てほしい内容)の情報収集と分析が必要。
・講座卒業生が事業に関わるような仕組みづくりが必要。
・市民の方が自分たちで企画・運営できる仕組みづくりの構築。
・今後も講座を継続していくこと。

【子どもの声】
・知らないことがいっぱいあって楽しかった。
・とても楽しかった。来年はもっともっと違うことをしたい。チャレンジ
したい。

【保護者の声】
・とても良い経験ができて良かった。
・甲賀市内のいろんな場所や施設を利用できて、勉強になった。
・いろいろな企画があったので面白かった。

【スタッフの声】 いろいろな体験を通して、自分を発見するきっか
けづくりにしていただければ幸いです。

甲賀市土山子ども教室 大野・土山・山内・鮎河小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	39日
	—	●		—	●	開催日数	0日	33日	長期休暇日数	6日

教室の実施場所

- ①あいの土山児童合唱団
土山中央公民館
②あいの土っこ“きらねっ人”いきいき活動
土山中央公民館
大野公民館
山内公民館
鮎河公民館

参加対象学年・参加人数

- 【対象】①あいの土山児童合唱団
保育園児・小学生1～6年
②あいの土っこ“きらねっ人”いきいき活動
保育園児・小学生1～6年
【参加人数】①土日・祝日 58人
長期休暇 6人
②土日・祝日 205人
長期休暇 60人

活動内容

- ①あいの土山児童合唱団
童謡やポップス、アニメソングまで、幅広いジャンルの歌を楽しく歌い、土山町の文化祭出演に向けて練習しています。また、歌だけでなく、ダンスや振り付けのある曲にもチャレンジしています。

- ②あいの土っこ“きらねっ人”いきいき活動
地域の大人が指導者・スタッフとなり、さまざまな体験活動を行っています。
・特産品や季節に応じたおやつづくり
・作品制作(押花、デコパージュ、トールペイント)
・野外活動(東海道ウォークラリー、天体観測)
・ふれあいあそび(カロム、紙芝居、お手玉)



お菓子作り教室の様子

コーディネーターや地域の方々などの参加

- ※あいの土っこ“きらねっ人”いきいき活動
【採用・募集方法】
ボランティアバンクに約30人の登録があり、事業への参加はその都度登録者に案内し、協力を求めている。

【スタッフ配置人数】 ※あいの土っこ“きらねっ人”いきいき活動

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	1	—	4	—
登録者数	1	—	4	—

連携している機関

【学校】きらねっ人スタッフが小学校の生活科授業に出向き、昔の遊びを指導することもある。

【学校支援地域本部】無し

【児童クラブ】参加の呼びかけ

【地域】児童合唱団・きらねっ人とも文化祭や区の祭など、地域の行事に参加することもある。

【企業・大学】なし
【その他】中興中継リレーンション協会の伊東にさつねとスタッフが出向き昔の遊びを指導することもある

安全管理・配慮事項

【送迎】保育園児や小学生低学年には、保護者のつきそいをお願いしている。

【緊急対応】
AED・救急箱を用意。保護者から緊急連絡先を聞いておき、連絡をとる。安全対策マニュアルを作成し、スタッフ間で共有する。館外事業については下見を実施。

【配慮の必要な子どもへの対応】
・特になし
◎特別支援学級(学校)の子ども参加(人)
・把握していない

事業を実施して

【成果と課題】①児童合唱団…全員で一つの音楽を奏でることと異年齢の交流が図られている。歌をとおして地域との交流により、学校や家庭とは違った学びができています。団員の減少が課題である。

②きらねっ人…子どもたちの間では「きらねっ人」の名前が定着してきている。親子で参加する家庭もあり、家族のふれあいの機会となっている。本事業はボランティアスタッフの力によって成り立っている。今後も活動を続けていくにはスタッフの後継者育成も必要となる。

【子どもの声】今日教わったことは家でもやってみよう。

【保護者の声】おうちではできない体験でよかった。

【スタッフの声】きらねっ人…学区・内容によって参加人数にバラつきがある。

甲賀市 甲賀子ども教室 大原・油日・佐山 小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	19 日
	●	●		—	●		0日	17日	長期休暇日数	2 日

教室の実施場所

甲賀公民館(かふか生涯学習館)、甲賀創健館他

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学1年～6年、中学1年～3年
(事業によって制限あり)

【参加人数】 平日 ()人
土日・祝日 小学生246人、中学生18人
長期休暇 小学生 37人、中学生 6人

活動内容

KOKA楽こども公民館

さまざまな文化活動を楽しみ体験することを目的に実施。

①お菓子づくり教室 4回

ものづくりに対する関心や興味を深めるとともに、仲間づくりを目的として実施。

②茶道教室 4回

伝統文化に対する関心や興味を深めることを目的として実施。



③こども天文クラブ

天文知識の向上とともに子どもたちの親睦を深めることを目的に実施。かふか生涯学習館の天体望遠鏡で季節の星座や惑星などを見る。



④甲賀★忍者隊

自然体験やものづくりを通じて、創造性を育み、グループ活動をすることで自主性や協調性を育てる機会とすることを目的に実施。名札づくり、ダンボールオープンで野外調理、電車を利用した旅など。

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

ボランティアとして地域の方々に声をかけ参加してもらっている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	—	—	1～4人	1人
登録者数	—	—	—	—

連携している機関

【学校】 募集にあたって、チラシなどを配布してもらっている。受講生名を各学校に連絡している。

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 無し

【企業・大学】 無し

【その他】 無し

安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者に送迎をしていただいている。

【緊急対応】

AED・救急箱を用意。保護者から緊急連絡先を聞いておき、連絡をとる。安全対策マニュアルを作成し、スタッフ間で共有する。館外事業については下見を実施。

【配慮の必要な子どもへの対応】

対象者の参加がないため、特に実施していない。
◎特別支援学級(学校)の子どもへの参加(0)人

事業を実施して

【成果と課題】 継続して参加している子どもは学習が深まってきている。参加者の減少が課題である。甲賀★忍者隊では講師がいないため継続して学習の積み上げができていない。また、スタッフも不足している。

【子どもの声】 普段できない体験ができた。

【保護者の声】 楽しく参加している。

【スタッフの声】 安全な実施に心がけ、受講生は楽しく熱心に活動している。

野洲市

野洲市地域教育協議会

連絡先

野洲市教育委員会 青少年育成課

T E L 077-587-6071

F A X 077-587-3834

E-mail ikusei@city.vasu.lg.jp

1 運営委員会組織

委員数 (18) 人

構成委員 (所属・役職名)

元野洲町教育委員会委員長、野洲市社会教育委員、野洲市青少年育成市民会議会長、野洲学区青少年育成課委員、三上地域教育推進委員会地域教育推進サポーター、祇王学区青少年育成会議副会長、篠原地域子ども教室運営協議会会長、北野学区青少年育成会会長、中里学区青少年育成会議会長、野洲学区わくわく子どもクラブ事務局、三上地域教育推進委員会事務局、祇王子どもほほえみ体験学習事務局、篠原地域子ども教室運営協議会事務局、北野っ子フレンドリークラブ事務局、中主地域子ども教室運営協議会事務局、小学校校長会、小学校教頭会

2 運営委員会の協議内容

回	実 施 日	参加人数	協 議 内 容
1	平成23年 7月1日	18名	(1)平成22年度 野洲市放課後子ども教室の実施結果について (2)平成23年度 野洲市放課後子ども教室実施状況について
2	平成23年 2月実施予定	18名	(1)平成23年度 野洲市放課後子どもプランの実施状況について (2)平成24年度 野洲市放課後子どもプランの概要について

3 広報

- ①参加者募集チラシ配布…各学区ごと、コミュニティセンターから小学校に配布
- ②参加者募集チラシ配布…各学区ごと、コミュニティセンターから学区内世帯に配布
- ③地域の青少年育成会議等に指導者・安全管理ボランティアの協力依頼

4 連携している関係機関、団体（学校・地域・企業）、指導者および連携・協力内容

- ・学区青少年育成会議 ・野洲市青少年育成市民会議 ・民生児童委員
- ・健康推進員 ・体育振興会 等
- ・全ての教室においてではないが、放課後児童クラブと一部共同開催している教室もある。
指導者は地元の年配の方、補助員は学童保育所の指導員というケースの他、指導者が学童保育所の指導員といったケースもある。

5 スタッフの研修・ミーティングなど

地域子ども教室の諮問機関である『地域教育協議会』において、『オープンキャンパス』と称した教室内容の相互見学会を、各学区ごと（7学区年1回・計7回）に実施している。

野洲市 中主地域子ども教室(中里) 中主小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	20日
	—	●		—	●		0日	18日	うち長期休暇日数	2日

教室の実施場所

コミュニティセンターなかさと

参加対象学年・参加人数

【対象】 小学生以上
 【参加人数】 99人
 【長期休暇参加人数】 11人

活動内容



①茶道クラブ



②手編みクラブ

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
 中主地域の小学校全生徒へチラシ配布。学区自治会へチラシ配布回覧やポスター掲示を依頼している。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり				1～2
登録者数				3

連携している機関

【学校】 教室のチラシの配布依頼。
 【学校支援本部】 無し
 【児童クラブ】 無し
 【地域】 地域のサークルの方に講師をお願いしている。
 【企業・大学】 無し
 【その他】 無し

安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者の判断にまかせている。
 【緊急対応】 スタッフは、基本的救急法講習を受講。救急箱は用意。保護者から連絡先を聞いておき、連絡する
 【配慮の必要な子どもへの対応】
 申し込みの際に、保護者から聞き取りを行う。保護者同伴で参加可能であれば、受付している。
 ◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

事業を実施して

【成果と課題】 子どもたちに根付いているものもあるが、教室によっては参加人数が少ないこと。
 【子どもの声】 できることが楽しい。
 【保護者の声】 手軽に学ばすことができ、助かっています。
 【スタッフの声】 低学年の場合、集中力持続時間が短いため、あきさせない工夫が必要。

野洲市 中主地域子ども教室(兵主) 中主小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	20日
	—	●		—	●	開催日数	0日	13日	長期休暇日数	7日

教室の実施場所

コミュニティーセンターひょうず

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学生1～6年
 【参加人数】 平日 ()人
 土日・祝日 (394)人
 長期休暇 (134)人

活動内容



藍染め体験(ハンカチ)



おやつ作り教室

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
 地域の青少年育成会議の委員の方々に当番制で協力援助していただいている。また、地域の健康推進員の方にも協力していただいている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	1～4人	—	1～2人	1～2人
登録者数	—	—	—	—

連携している機関

【学校】 課題が出たときに、連絡をとれるようにしている。

【学校支援本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 地域のボランティアサークルに依頼することもある。

【企業・大学】 なし

【その他】 青少年育成会議から支援協力してもらう。

安全管理・配慮事項

【送迎】 保護者送迎ができない場合、職員またはボランティアが送迎を行う。

【緊急対応】 職員は基本的救急法講習を受講。救急箱は用意している。

【配慮の必要な子どもへの対応】
 保護者から聞き取りを行う。重度の障がい者の場合は保護者に付き添ってもらう。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

事業を実施して

【成果と課題】
 異学年が1年間を通して一緒に遊ぶことで思いやりの心が育つ。

【子どもの声】 来年も来るから教室を開いてね。

【保護者の声】 安心して預けています。

【スタッフの声】 少ないスタッフでの企画運営は厳しいが子どもたちの笑顔を励みにがんばっています。

野洲市 篠原地域子ども教室

篠原小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	94日
	—	●		—	●	開催日数	0日	83日	うち長期休暇日数	11日

教室の実施場所

コミュニティセンターしのはら

参加対象学年・参加人数

【対象】 小学生1年生～6年生
 【参加人数】 平日 (0)人
 土曜 (701)人
 長期休暇 (143)人

活動内容

①夏休みワクワク合宿

募集人数に制限があり、人気があるためすぐに締め切ること。初めて親と離れお泊りを経験する低学年の子どもたち。1年生から6年生の子どもたち縦のつながりを大切に今年で3回目の実施となりました。(子ども40名参加)

②やま・もり・はらっぱ 冒険 イン しのはら

年4回を通しての里山探検を計画しました。地元の里山ということが原因なのか、参加者がなかなか集まらず諦めかけましたが、子ども教室自然観察指導員の方々の指導により実施可能な人数が集まりました。少人数でしたが、里山を散策。琵琶湖が眺められたり、リース作りをして楽しい体験となりました。



③もちつき体験教室

人気のある教室のため毎年実施しています。昔ながらの「臼と杵」を使っのもちつきで家庭では味わえない美味しいお餅を味わうところまでを体験します。(子ども30名参加)

④子どもとサンタの夢パーティー

子どもたちに夢を与えようと、自治会、小学校PTA役員等の協力を得て毎年実施しています。工作・ゲーム・ケーキ作り・ビンゴゲーム等盛大に行われ年間行事の中で最大のものです。(子ども135名)



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】青少年育成会議、地域子ども教室、センター職員、健康推進員等の中から、事業規模、内容に照らして適任な方を支援者に依頼している。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	1～2	—	40	1～2
登録者数	—	—	40	—

連携している機関

【学校】募集の段階で知らせている。

【学校支援本部】なし

【児童クラブ】連携あり

【地域】学区老人会や健康推進員による指導、更生保護女性会、小学校PTA役員、民生委員の協力を得ている。

【企業・大学】なし

【その他】

安全管理・配慮事項

【送迎】保護者による送迎、友達同士での自転車利用

【緊急対応】保護者への緊急連絡先、健康状況調査票の提出により安全を第一に考え把握している。

【配慮の必要な子どもへの対応】

食物アレルギーの子どもさんについては保護者との連携を取っている。

事業を実施して

【成果と課題】スポーツ活動・習い事により参加者が限定されてくる。

【子どもの声】楽しかった・おもしろかった等、好評であった。

【保護者の声】ありがとうの感謝の声をいただいている。

【スタッフの声】子どもたちの笑顔が最高！！

野洲市 祇王子どもほほえみ体験学習 祇王小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	40日
	—	●		—	●		0日	34日	長期休暇日数	6日

教室の実施場所

コミュニティーセンター ゑおう

参加対象学年・参加人数

【対象】 小学校1年～6年生

【参加人数】 平日 ()人
 土日・祝日 (250)人
 長期休暇 (30)人

活動内容

「異文化体験教室」～アメリカのクリスマスパーティー～

アルファベット遊び

アメリカのクリスマスの様子を説明してもらっている



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

地域の方々に声をかけ参加してもらっている。学童保育の指導員に願う。青少年育成会議の集まりの際に願う

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	1		2	1
登録者数	6		2	6

安全管理・配慮事項

【送迎】

基本保護者が車で送迎。高学年児童は自転車

【緊急対応】 救急箱を用意。対応できない場合は救急車対応。申込時に保護者から緊急連絡先を聞いておき、連絡をとる。

【配慮の必要な子どもへの対応】

低学年児童に対しては、保護者参加もお願いしている。

◎特別支援学級(学校)の子どもへの参加()人

連携している機関

【学校】 野洲市立祇王小学校

【学校支援本部】

【児童クラブ】

【地域】 祇王学区青少年育成会議

【企業・大学】

【その他】民生・児童委員の協力。祇王小学校の学童保育所と年1回、合同の取組を行う。

事業を実施して

【成果と課題】課題は子どもの参加が非常に少ない。スポーツ少年団や学童保育所との兼ね合いも考慮に入れて、曜日と時間変更を考えることが必要

【子どもの声】 できたらうれしい。

【保護者の声】

【スタッフの声】参加者がもっと増える為に如何すればいいのが課題

野洲市 三上楽しいクラブ活動 三上小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	29日
	—	●		—	●	開催日数	0日	21日	長期休暇日数	8日

教室の実施場所

コミュニティセンターみかみ 大ホール・研修室・和室

参加対象学年・参加人数

【対象】 三上小学校 1年生～6年生
 【参加人数】 平日 (0)人
 土日・祝日 (656)人
 長期休暇 (61)人

活動内容

①楽しいクラブ活動「和太鼓」

地域で活動する「むかで太鼓保存会」のメンバーによる指導のもと、月1回のペースで練習。実力に差があるため、学年別・パート別の練習をするなどの工夫をしている。「悠紀まつり」でのステージを発表の場としている。

②楽しいクラブ活動「生け花」

季節の移り変わりを感じながら花材の名前を覚えたり、花に合った活け方を学ぶ。悠紀まつりを発表の場としている。

③楽しいクラブ活動「茶道」

悠紀まつり茶席



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

新学期の開始と同時に三上小学校を通じて「楽しいクラブ活動」の募集要項を全児童に配布。本人の調整で複数のクラブ活動にも参加できる。5月からの開始となる。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	2～4名			2～4名
登録者数	8名			

安全管理・配慮事項

【送迎】 自転車・自動車・徒歩と様々な方法で来館する。文書等を発信するときは、「お子様の送迎よろしくお願いします」の旨書き添えるようにしている。

【緊急対応】 クラブ中のちょっとしたアクシデントがあったときは、その旨保護者にも連絡している。(軽い怪我程度は応急的な処置をすることもある)

【配慮の必要な子どもへの対応】

特定して配慮が必要な子どもは把握していないが、集団を乱すなどの行動が顕著な場合は学校とも連絡を取り合いたいと考えている。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(分からない)人

連携している機関

【学校】 三上小学校

【学校支援本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 三上地域教育推進協議会

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

事業を実施して

【成果と課題】 縦の関係が上手に機能しているように思われる。発表の場(悠紀まつり)の向けて練習することが励みになっているのではないかな。

【子どもの声】 違う学年のこと友達になれた。将棋を通じておいしいちゃん、おとうさんとコミュニケーションが取れるようになった。

【保護者の声】 約束時間を守り、思いやりのある子になった。楽しみを見つけられるようになった。

【スタッフの声】 子ども達の笑顔から元気をもらう反面、わずかな時間の中でも大切な子ども達をお預かりしていることを念頭におきたい。また、地域サポーターの方々にも熱心に指導していただき感謝している。

野洲市 野洲学区わくわく子どもクラブ 野洲小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	18日
	—	●		—	●		0日	14日	長期休暇日数	4日

教室の実施場所

野洲市コミュニティセンターやす

参加対象学年・参加人数

【対象】小学生1年生から6年生
 【参加人数】平日 (0)人
 土曜 (531)人
 長期休暇 (37)人

活動内容

わくわく料理A

【対象】3年から6年生 16名 7回開催



わくわく えてがみ

【対象】1年から6年生 20名 8回開催



わくわく おりがみ

【対象】2年から6年生 10名 9回開催



わくわく カロム

【対象】1年から6年生 29名 7回開催



わくわく いけ花

【対象】1年から6年生 19名 9回開催



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

コミュニティセンターやすの広報紙に掲載募集する。及び、安全管理員などの紹介

【スタッフ配置人数】 14名

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	9	—	—	5
登録者数	9	—	—	5

連携している機関

【学校】 課題が出たとき連絡する。

【学校支援本部】 無し

【児童クラブ】 カロム指導者として参加してもらっている。

【地域】 指導者の情報をもらう。

【企業・大学】 無し

【その他】

安全管理・配慮事項

【送迎】

保護者に送迎をお願いしている。

【緊急対応】

参加児童および保護者名簿を作成し連絡できる体制をとっています。また、不審者対策として、さすまたを施設に常設している。救急セットおよびAEDを常設

【配慮の必要な子どもへの対応】

これといった対応は取っていない。現状は、保護者及び指導者をお願いしている。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(1)人

事業を実施して

【成果と課題】 地域の高齢者との交流を深める事が出来た。指導者が高齢化しており、事業を継続する為に次の後継者を探すのがきびしい状態である。

【子どもの声】 料理クラブは、自分たちで料理が作れるし、学べるのでとても良いクラブです。来年も続けて下さい。楽しかったです。

【保護者の声】 クラブを通じて、異年代との交流機会を与えて頂き、また、指導して頂き感謝しております。

【スタッフの声】 挨拶、手洗い、作る、食べる、後片付けを徹底しており、皆で楽しく過ごし、食についての関心を深めるように努めている。

野洲市 北野っ子フレンドリークラブ 北野小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	29日
	-	●		-	●		0日	25日	長期休暇日数	4日

教室の実施場所

コミュニティセンターきたの

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学生1年～6年
 【参加人数】 平日 ()人
 土日・祝日 (574)人
 長期休暇 (108)人

活動内容

開催日(時間帯) : 土曜日(9:30～11:30)
 教室科目(年間回数) : 囲碁(3回)、将棋(4回)、パソコン(4回)、工作(2回)、料理(2回)、絵画(1回)、お菓子作り(1回)、昔遊び(1回)、グランドゴルフ(5回)、オセロ(5回)、百人一首(1回)



昔遊び教室(8月7日)



料理教室(11月19日)

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】 北野小学校区青少年育成会の役員が地域の有志を募り、参加していただいています。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	2～6	-	-	1～4
登録者数	8	-	-	15

連携している機関

【学校】 北野小学校(内容説明、参加申込み受付)
 【学校支援本部】 なし
 【児童クラブ】 なし
 【地域】 北野小学校区青少年育成会(企画、実施)
 【企業・大学】 なし
 【その他】 なし

安全管理・配慮事項

【送迎】 小学1～2年生については保護者に送迎をお願いしています。

【緊急対応】 有事の際の保護者への連絡や地域子ども教室に関する保護者からの問合せに対する対応は、コミュニティセンターきたの事務局が北野小学校区青少年育成会と連携して実施しています。

【配慮の必要な子どもへの対応】 特別に対応が必要な子どもの参加がある場合は、北野小学校区青少年育成会の役員が安全管理員の立場で対応します。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

事業を実施して

【成果と課題】 参加者を増やす工夫が必要

【子どもの声】 「楽しかった。」

【保護者の声】 「子どもの面倒をよくみてもらっている。」

【スタッフの声】 「当日のキャンセルが多いことが問題である。」

東近江市

東近江市地域教育協議会

連絡先

東近江市 生涯学習課

T E L : 0 7 4 8 - 2 4 - 5 6 7 2

F A X : 0 7 4 8 - 2 4 - 5 6 9 4

E-mail : syogaika@

city.higashiomi.shiga.jp

1 運営委員会組織

委員数 (2 4) 人

構成委員 (所属・役職名)

自治会連合会代表、青少年育成市民会議代表、PTA連絡協議会代表、子ども会連合会代表、スポーツ少年団代表、子育て支援団体代表、公立小学校長会代表、公立中学校長会代表、学校と地域を結ぶコーディネーター担当者代表 (小・中学校)
各地区地域教育協議会代表 (14人)

2 運営委員会の協議内容

回	実 施 日	参加人数	協 議 内 容
1	平成23年 5月25日 (水)	18人	●平成22年度事業報告・収支決算について ●平成23年度事業計画(案)・収支予算(案)について ●交流会 各地区の活動を紹介し、意見・情報を交換した。
2	平成23年 11月17日 (木)	14人	●研修会 話題提供 「子どもは遊んで育つんだ」 八日市に冒険遊び場を作る会 世話人 村山 弘晃 氏 ●意見・情報交換会
3	平成24年 3月(予定)	24人	●平成23年度活動報告と平成24年度の見通しについて ●各地区取り組み状況の報告 ●意見・情報交換会

3 広報

学校や自治会、各地区コミュニティセンター通信などを通して活動案内を配布し募集する。

東近江市ホームページへ各地区の活動報告を掲載

東近江市ケーブルテレビ

4 連携している関係機関、団体(学校・地域・企業)、指導者および連携・協力内容

特になし

5 スタッフの研修・ミーティングなど

特になし

東近江市 蒲生マックスクラブ 蒲生東・西・北小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	54日
	-	●		-	●	開催日数	0日	48日	長期休暇日数	6日

教室の実施場所

蒲生コミュニティセンター

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学生・中学生
 【参加人数】 平日 (0)人
 土日・祝日 (1350)人
 長期休暇 (179)人

活動内容

活動クラブ

- ①茶道クラブ(毎月第2土曜日)
- ②そろばんクラブ(毎月第1土曜日)
- ③くらふと☆デコ(年9回)
- ④蒲生野太鼓わらべ組(毎週土曜日)
- ⑤キッズあかねGOSHU(毎月第2・4土曜日)
- ⑥陶芸クラブ(毎月第4土曜日)
- ⑦ITキッズクラブ(毎月第2日曜日)
- ⑧KID FLOWER(年6回)

活動時間帯

10:00~12:00 14:00~15:30

18:00~20:00



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

地域の方々に声を掛け参加してもらっている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	4~14	-	-	-
登録者数	27	-	-	-

安全管理・配慮事項

【送迎】 送迎は保護者にしてもらっている。迎えが遅い場合は、保護者によるボランティア当番と一緒に待ち、子どもだけにしない。

【緊急対応】 指導者・ボランティアスタッフには安全管理マニュアルで指導。事務所には救急箱を用意。

【配慮の必要な子どもへの対応】

参加申込み時に、必要な子どもには保護者から聞き取りを行う。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

連携している機関

【学校】 子どもたちへのチラシ配布や声掛けを依頼

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 地域のサークルに指導・安全監視をしてもらう

【企業・大学】 無し

【その他】 無し

事業を実施して

【成果と課題】 異年齢と学校が違うということで最初はごちなかった子どもが雰囲気にもなれ、だんだん他のクラブ員や指導者と交流できるようになり、成長ぶりがうかがえます。課題としては準備・後始末まではなかなか子どもたちにしてもらえないのと、保護者の方の安全管理体制も十分に意識が行き渡っていないことです。

【子どもの声】 違う学校の友達ができた。

【保護者の声】 子どもが楽しそうに参加しています。

【スタッフの声】 1年間かけて活動すると、子どもたちの成長がよくわかります。

東近江市 てんびんの里放課後教室 五個荘小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	70日
	-	●		-	●		38日	24日	長期休暇日数	8日

教室の実施場所

五個荘コミュニティセンター
てんびんの里文化学習センター・他

参加対象学年・参加人数

【対象】 小学校1～6年

【参加人数】 平日 (152) 人
土日・祝日 (312) 人
長期休暇 (50) 人

活動内容

- (開催日)土・日・水
- 年間 70日(うち長期休業日8日)
- 1時間半～6時間(回によって異なる)
- 活動内容
 - ①わくわくつきんぐ 7回
 - ②花いちもんめ 12回
 - ③ビーズキッズ 7回
 - ④OH! 茶チャチャ 13回
 - ⑤太鼓の達人 41回
 - ⑥わんぱくてんびん 5回



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

五個荘地域教育協議会が企画・実施しているため、講師や安全管理員は協議会のメンバーが中心となって活動している。また、参加者の募集冊子でサポーターの募集も同時に行っている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	3	-	-	-
登録者数	3	-	-	-

連携している機関

【学校】

子どもたちへのチラシや各講座のお知らせの配布を依頼。

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】

地域のサークルに安全監視・指導をしてもらう。
講座の成果発表と体験を兼ねて『来て！見て！体験 子ども屋台村』をまちづくり協議会・老人会・各種団体の地域サポーターのもと実施した。
コミュニティセンター講座と共催で受講生の方々と交流を行った。

【企業・大学】 無し

【その他】 無し

安全管理・配慮事項

【送迎】

保護者送迎ができない場合、ボランティアが送迎を行う。

【緊急対応】

スタッフは、安全管理マニュアルを指導。事務所には救急箱を用意。

保護者から緊急連絡先を聞いておき、連絡をとる。

【配慮の必要な子どもへの対応】

参加申込時に、必要な子どもには保護者から聞き取りを行い、保護者との連絡を密に行うよう心がけている。
◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

事業を実施して

【成果と課題】 年間を通じて活動することにより、子ども同士の関係もでき、高学年が下の学年の子ども達に教えてあげたりできるようになってきました。
今年はできるだけ多くの地域の方と交流をする機会をつくり、子ども達の活動を知ってもらう事ができました。
今後の課題としては、指導者に全てを任せではなく、保護者による安全管理体制を作っていきたいと思います。

【子どもの声】

「上手に作れたのでお家の人にも作ってあげたい。」
「友達が増えて良かったです。」
「来年も友達と一緒にいきたいです。」

【保護者の声】

「家庭で出来ない体験をさせてもらえて嬉しいです」
「月一回程度なので無理なく続けられる。」
「講座で習った事を家でもやっている」

【スタッフの声】 はじめて参加する子どもは、後片付け等ができなくて、最後までやり遂げることができない子が多かった。継続受講の子どもは講座の流れをよくつかんでいたの、続ける事の大切さを感じました。今後も指導をして行きたいと思います。

米 原 市

米原市放課後安心プラン推進委員会

連絡先

米原市健康福祉部 こども元気局

TEL 0749-55-8104

FAX 0749-55-4040

E-mail kodomokatei@city.maibara.lg.jp

1 運営委員会組織

委員数 (11) 人

構成委員 (所属・役職名)

米原市子ども会育成連合会代表、民生委員児童委員代表(2名)、放課後児童クラブ関係者(2名)、市民団体代表(3名)、校長会代表、学校教育課長、こども元気局長

2 運営委員会の協議内容

回	実 施 日	参加人数	協 議 内 容
1	9月28日	10人	・放課後安心プランの概要説明 ・放課後児童クラブ、放課後キッズに関する意見交換

3 広報

- ・年度当初に、小学校を通じて全児童へ募集チラシを配布し、事業参加登録児童の募集をしている。さらに、参加登録児童へ開催日ごとに案内チラシを配布し、参加申込を行っている。
- ・放課後キッズ通信を参加者に配布。
- ・ケーブル「伊吹山テレビ」にて活動の様子を放映。

4 連携している関係機関、団体、指導者および連携・協力内容

- ・放課後児童クラブ指導員は参加者を把握し、案内ちらしの配付や保護者のお迎え時間の調整などを行い、事業への送迎、参加によって児童が安心してかつ安全に活動できる状況をつくっている。
- ・民生委員児童委員協議会連合会、市シルバー人材センター、ボランティアグループなどの協力をいただいている。
- ・公民館事業との協同開催により、登録していない児童との交流機会がある。

米原市 放課後キッズ in “まいはら” 米原・息郷・醒井小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	10日
	●	●		—	●	開催日数	0日	10日	長期休暇日数	0日

教室の実施場所

醒井・息郷小学校体育館・すばーく米原・他

参加対象学年・参加人数

【対象】 小学1年～6年生(内容により保護者参加可)
 【参加人数】 平日 ()人
 土日・祝日 (250)人
 長期休暇 ()人

活動内容

◆ミニテニスで遊ぼう！(すばーく米原)
 講師を市内のテニススクールに依頼してミニテニスを体験する。
 ◆バドミントン・ドッジビーで遊ぼう！(醒井小学校)
 体育指導員・実行委員さんの指導のもと楽しく体験しました。
 ◆紙飛行機を飛ばそう！(息郷小学校)
 日本折紙飛行士協会の講師の指導のもと自分で折った紙飛行機を飛ばして楽しみました。
 ◆琵琶湖でカヌーを体験しよう！(琵琶湖岸)
 米原市のカヌー指導員の方に教えてもらい全員が大感激でした。
 ◆お餅つきとグラウンドゴルフをしよう！(すばーく米原)
 生まれて初めてのお餅つきとグラウンドゴルフを地域のお年寄りに教えて貰いました。
 ◆お正月フラワーリーフを作ってみよう！(醒井小学校)
 米原市在住のフラワーアレンジメントの講師を招いて初めての「お正月フラワーリーフ」に挑戦しました。



カヌー体験



折紙飛行機体験



お餅つき体験



お正月フラワーリーフ

◆1月～3月は竹馬・大縄跳び・ミニテニス体験を予定しています。

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
 地域のボランティアさんと運営委員さんに協力を依頼している。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	5	3	3	—
登録者数	11	—	—	—

連携している機関

【学校】 米原・息郷・醒井各小学校

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 地域の各種団体・サークルに講師をお願いしている。

【企業・大学】 地元の大学生

【その他】 なし

安全管理・配慮事項

【送迎】 各保護者で対応。

【緊急対応】 毎回、参加者名簿を作成し緊急連絡先名簿に従い保護者に連絡する。また、救急箱設置や緊急医療機関連絡体制を確立している。

【配慮の必要な子どもへの対応】
 スタッフ・ボランティアを含め常時5～6名の大人が全体を見守っている。また、付き添いのいる場合には保護者同伴の上参加してもらっています。
 ◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

事業を実施して

【成果と課題】 成果・・次を楽しみにしてくれています。
 課題・・もう少し参加者を増やしたい。

【子どもの声】 カヌー体験・お餅つき・キリン工場が楽しかった。

【保護者の声】 毎回参加をしたいので学校行事と重ならないようにしてほしい。

【スタッフの声】 子供のはじける笑顔が見られて私達も嬉しくなります。これからも笑顔がいっぱいの活動を応援したいです。

米原市 放課後キッズinおうみ 坂田・息長小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	10日
	—	●		—	●	開催日数	0日	10日	長期休暇日数	0日

教室の実施場所

- ・近江公民館
- ・どろんこ農園(舟崎地先)
- ・やまの森(日光寺)

参加対象学年・参加人数

- 【対 象】 小学校1年生～6年生
【参加人数】 のべ450人

活動内容

- ①田植え体験・・・どろんこ農園にて、田んぼに入り、苗を手で植えた。
- ②ペットボトル風車づくり・・・どろんこ農園に設置する、もぐらおとし(ペットボトル風車)にアクリル絵の具でペイントを行った。
- ③玉ねぎとじゃがいもの収穫と手作りピザの試食・・・採れたての玉ねぎを、ピザにトッピングして試食。
- ④カヌー・ボート体験と木工工作・・・やまの森の池にて、カヌー(3年生以上)と、ボート(1・2年生)に乗り、木工体験も同時に実施。
- ⑤Mr. チョップリンのマジックショー観覧・・・マジックショーや腹話術を観覧。
- ⑥稲刈り体験とさつまいも掘り・・・どろんこ農園にて、鎌で稲刈りと、さつまいも掘り。
- ⑦『健康・仲間づくり“運”動会』参加・・・町民運動会を復活する会主催による運動会に参加。
- ⑧もちつき体験・・・きねとうすで、お正月のおもちつきを体験・試食。
- ⑨ロング巻き寿司づくり体験・・・節分にちなんで、長～い巻き寿司づくりに挑戦。
- ⑩研修旅行(県外)・・・バスに乗って県外へ研修旅行。



①田植え体験 H23.6.4(土)



④カヌー・ボート体験 H23.8.6(土)



⑥稲刈り体験 H23.9.25(日)

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

地域のボランティアの方々や、ボランティアグループに声をかけて参加していただいている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	3	3	7～8	—
登録者数	5	3	15	—

連携している機関

【学校】 児童への募集チラシ配布依頼と、先生方にも実施内容の通知。

【学校支援地域本部】 無し

【児童クラブ】 無し

【地域】 地域のボランティアさんに、その都度、声をかけて協力していただいている。

【企業・大学】 無し

【その他】 無し

安全管理・配慮事項

【送迎】 送迎は、必ず、保護者の方をお願いしている。
開催地への送迎は地域防犯安全パトロール隊員に依頼している。

【緊急対応】 保護者から緊急連絡先を聞いている。何かあればすぐに連絡をし、対応を検討する。

【配慮の必要な子どもへの対応】

事前に健康チェックを行い、配慮が必要な児童には安全管理員を配置。

事業を実施して

【成果と課題】 年々、参加者数が増し、全体的に農業体験や自然体験への関心が、児童や保護者の間で高まっている傾向にある。また、こどもたちは、地域のボランティアの方々や異年齢交流を図ることができ、学校とはまた違う環境の中で、のびのびと活動することができている。

放課後に実施できるようにしていきたいが、放課後は塾等に通う児童が多い為、参加する児童の把握が困難である。

【子どもの声】 学校ではなかなか出来ない体験ができて楽しい。

【保護者の声】 家に帰ってくると体験したことを楽しそうによく話してくれます。今後も続けていただきたい。

【スタッフの声】 こどもたちがのびのびと体験している姿が素晴らしい。学校では出来ない体験をどんどんしていただきたい。

米原市 放課後キッズin来んせい

山東小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	10日
	—	●		—	●		0日	10日	長期休暇日数	0日

教室の実施場所

・米原市山東生涯学習センター

参加対象学年・参加人数

【対象】 小学生1～6年
【参加人数】 小学生のべ227人
【長期休暇参加人数】 なし

活動内容

- ①さつま芋植え
- ②折り紙と紙飛行機づくり
- ③ガラスフォトフレームづくり
- ④工場見学(ミートボール工場)
- ⑤芋堀りと焼き芋、コスモス畑散歩
- ⑥よさこいソーラン踊り、丸ちゃん劇場
- ⑦廃油、ろうそくキャンドルとサンタの折り紙
- ⑧餅つきと伝承あそび
- ⑨室内ゲームを楽しむ
- ⑩エンジョイクッキング



第7回クリスマスキャンドルづくり



第8回伝承遊び(福笑い)

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
・地域の経験者やボランティアに声をかけて参加してもらっている。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	8	2	0	0
登録者数	11	4	0	0

安全管理・配慮事項

【送迎】
・学校から会場までは集団下校もしくは保護者の送りとし、集団下校についてはキッズのメンバーが付き添い、安全確保に努めている。
・帰りは保護者の迎えを原則としている。

【緊急対応】
・保護者の緊急連絡先を聞いている。

【配慮の必要な子どもへの対応】
・食物アレルギー体質の子どもたちに気を付けておやつを提供している。

【その他】
・開始前に必ずスタッフミーティングを行い、共通認識事項を確認している。
・時としてみんなの輪から離れる子に対して声を欠かさないようにしている。

連携・その他

【学校】
・学校で募集時および毎月の開催毎に案内ちらしの配布、とりまとめを依頼している。
・一斉下校時にキッズ班を編成してもらった。

【学校支援本部】

【児童クラブ】

【地域】
・日頃、地域で子どもたちの登下校の安全を見守っていただいている地元民生委員児童委員の方がスタッフとして参加して下さった。

【企業・大学】

【その他】

事業を実施して

【成果と課題】
・学校では見ることがない生き生きとした笑顔が見られた。
・年齢差があり、活動内容に幅がある。
・グループ活動では、高学年の児童がリーダー的役割を自然に担うようになってきている。

【子どもの声】
・輪ゴムをつないでするごむとびやキャンドル作りなど初めてする遊びがあつておもしろかった。
・輪ゴムをつかってこんな遊びができるとは知りませんでした。

【保護者の声】
・普段家では体験できないことができてありがたい。

【スタッフの声】
・子どものためというより、自分が生きがいをもっている。
・一人ひとりが自主的に役割分担し楽しんでいる。
・事前に準備したり勉強会をして臨むことがあるが、子どもの満足した顔が見られると励みになる。

米原市 放課後キッズinジョイ 東草野・伊吹・春照小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	11 日
	—	●		—	●		10日	1日	長期休暇日数	0 日

教室の実施場所

米原市伊吹薬草の里文化センター
伊吹山麓青少年総合体育館

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学校1～6年生児童
【参加人数】 平日 (400) 人
土日・祝日 (30) 人
長期休暇 (0) 人

活動内容

- 第1回(5/18) 体育館で遊ぼう 二人三脚、ユニホック
第2回(6/15) 消しゴム作りをしよう、紙遊び(伊吹山文化資料館の協力)
第3回(7/ 6) グラウンドゴルフを楽しもう
第4回(9/14) カラー勾玉を作ろう(伊吹山文化資料館の協力)
第5回(10/12) 昔の遊びを体験しよう 竹馬、水鉄砲、カラム、紙鉄砲(作って遊ぶ)
第6回(11/16) ランプシェードを作ろう
第7回(12/14) クリスマスケーキを作ろう(第1班)
第8回(12/21) クリスマスケーキを作ろう(第2班)
第9回(1/22) かるた・百人一首大会 & もちつき大会(米原市青少年育成市民会議伊吹支部との共催)
第10回(2/15) 雪遊びをしよう(予定)
第11回(3/14) ボール遊びをしよう(予定)



第1回活動 体育館で遊ぼう(ユニホック)



第6回活動 ランプシェードを作ろう

コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
青少年育成活動に携わる人への声かけによる。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	6～8	1～2	—	—
登録者数	8	2	—	—

連携している機関

- 【学校】募集ちらし、開催案内等の配布協力。
【学校支援地域本部】無し
【児童クラブ】 放課後児童クラブ所属児童についての情報交換。指導員が子どもと共に参加する。
【地域】活動内容に応じて資料館や地域のボランティアサークルに協力していただいている。
【企業・大学】無し
【その他】無し

安全管理・配慮事項

- 【送迎】
必ず保護者の送迎による。放課後児童クラブ参加児童は、放課後児童クラブ指導者の引率のもとに参加する。
【緊急対応】
救急箱の携行。保護者から緊急連絡先を聞いておき、連絡を取る。(児童の名札の裏面に記載しておく)
【配慮の必要な子どもへの対応】
児童の様子を観察し、活動内容及び必要に応じてスタッフを配置する。
◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

事業を実施して

- 【成果と課題】
新たなスタッフを迎え、充実した指導体制ができた。
参加児童数が大きく増えたが、高学年児童の参加が少ない。
【子どもの声】
【保護者の声】
【スタッフの声】 } (最終回にアンケート調査をする予定)

竜王町

(公民館子ども教室運営委員会)

連絡先

竜王町教育委員会公民館

TEL 0748-58-1005

FAX 0748-58-1979

E-mail kuminkan@town.ryuoh.shiga.jp

1 運営委員会組織

委員数 (13) 人

構成委員(所属・役職名)

教育委員(1名)、社会教育委員(1名)、地域住民(6名)、小学校校長(2名)、
小学校教員(2名)、元中学校教員(1名)

2 運営委員会の協議内容

回	実施日	参加人数	協議内容
1	5月14日	13人	今年取り組みについて 活動内容の確認 親子で参加できる活動の取り入れ
2	1月下旬	13人	今年度の反省および次年度に向けての課題と対策
3			

3 広報

4月に参加募集チラシ配布

各クラブ活動内容は、公民館ホームページにより随時掲載

4 連携している関係機関、団体(学校・地域・企業)、指導者および連携・協力内容

竜王小学校、竜王西小学校は：参加募集と発表会

小学校PTA、老人クラブ連合会、りゅうおうLady(女性G)、ウィズテラ(陶芸G)

→交流活動体験の支援協力

内容：発表会、料理、餅つき、工作づくり

5 スタッフの研修・ミーティングなど

竜王町子ども教室【チャレンジクラブ】 竜王・竜王西小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	11 日
	—	●		●	—		0日	11日	長期休暇日数	0 日

教室の実施場所

竜王町公民館
妹背の里

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学校4年生～6年生
【参加人数】 平日 (0)人
土日・祝日 (220)人
長期休暇 (0)人

活動内容

そば打ち体験



陶芸体験



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
・住民、学校教員OB、行政職員などの情報に提供により候補者リストアップ後、採用決裁により採用。
・公民館担当職員

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	4	—	—	2
登録者数	5	—	—	2

安全管理・配慮事項

【送迎】
・保護者による公民館玄関前および活動場所までの送迎。
また、講師や職員の前での開放。
【緊急対応】
保護者への緊急連絡網の作成。
休日活動が多いため休日急患診療所の連絡先、場所の把握。
【配慮の必要な子どもへの対応】
・個人健康調査票により受講生の状況を把握した。
その上で、配慮の必要な子については、各担当講師へ伝える。
◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

連携している機関

【学校】 小学校2校

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 なし

【企業・大学】 なし

【その他】 老人クラブ連合会、りゅうおうLady、陶芸グループ
竜王町そば振興会

事業を実施して

【成果と課題】
・子ども達に活動体験を通じて、異年齢の友達づくりや何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけてもらえ、技能を伸ばすことができた。
・少子化と子どもに興味も持ってもらえる内容が課題。
【子どもの声】
友達が多くでき、初めての体験ばかりで楽しく参加できて良かった。
【保護者の声】
・体験活動後に、家で「今日は楽しかった。またやってみたい」と笑顔でいきいきと報告してくれる姿に、子ども教室に参加させてよかったと思いました。
【スタッフの声】
・多くの子ども達に、いろんな活動を楽しく、いきいきと体験してもらい、その体験や経験が、これからの子ども達の糧となり力となれば最高です。さらには、将来、指導者、リーダー等として地域貢献できる人になれば幸いです。

竜王町子ども教室【デジカメ・パソコンクラブ】 竜王・竜王西小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	12 日
	—	●		—	●		0日	12日	長期休暇日数	0 日

教室の実施場所

竜王町公民館

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学校3年生～6年生
 【参加人数】 平日 (0)人
 土日・祝日 (60)人
 長期休暇 (0)人

活動内容

ワード・エクセル実技練習



インターネット実技練習



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
 ・住民、学校教員OB、行政職員などの情報に提供により候補者リストアップ後、採用決裁により採用。
 ・公民館担当職員

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	2	—	—	1
登録者数	4	—	—	1

連携している機関

【学校】 小学校2校

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 なし

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

安全管理・配慮事項

【送迎】
 ・保護者による公民館玄関前および活動場所までの送迎。
 また、講師や職員の前での開放。
 【緊急対応】
 保護者への緊急連絡網の作成。
 休日活動が多いため休日急患診療所の連絡先、場所の把握。

【配慮の必要な子どもへの対応】
 ・個人健康調査票により受講生の状況を把握した。
 その上で、配慮の必要な子については、各担当講師へ伝える。
 ◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

事業を実施して

【成果と課題】
 ・子ども達に活動体験を通じて、異年齢の友達づくりや何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけてもらえ、技能を伸ばすことができた。
 ・少子化と子どもに興味も持ってもらえる内容が課題。

【子どもの声】
 ローマ字で打つようになって良かったし、インターネットの正しい使い方もわかって良かったです。

【保護者の声】
 ・今の情報社会では、パソコンが絶対必要であり、情報もパソコンで調べる時代ですので、子どもが操作をしっかりとできるようになってよかったと思います。

【スタッフの声】
 ・多くの子ども達に、いろんな活動を楽しく、いきいきと体験してもらい、その体験や経験が、これからの子ども達の糧となり力となれば最高です。さらには、将来、指導者、リーダー等として地域貢献できる人になれば幸せです。

竜王町子ども教室【宇宙科学クラブ】 竜王・竜王西小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	11 日
	—	●		●	—		3日	8日	長期休暇日数	0 日

教室の実施場所

竜王町公民館
妹背の里
湖北野鳥センター
教育センターほか

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学校1年生～6年生
【参加人数】 平日 (48)人
土日・祝日 (128)人
長期休暇 (0)人

活動内容

野鳥観察会



工作づくり



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

- ・住民、学校教員OB、行政職員などの情報に提供により候補者リストアップ後、採用決裁により採用。
- ・公民館担当職員

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	3	—	—	3
登録者数	6	—	—	3

安全管理・配慮事項

【送迎】

- ・保護者による公民館玄関前および活動場所までの送迎。また、講師や職員の前での開放。

【緊急対応】

- 保護者への緊急連絡網の作成。
- 休日活動が多いため休日急患診療所の連絡先、場所の把握。

【配慮の必要な子どもへの対応】

- ・個人健康調査票により受講生の状況を把握した。その上で、配慮の必要な子については、各担当講師へ伝える。
- ◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

連携している機関

【学校】 小学校2校

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 なし

【企業・大学】 なし

【その他】 野鳥センター、教育センター

事業を実施して

【成果と課題】

- ・子ども達に活動体験を通じて、異年齢の友達づくりや何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけてもらえ、技能を伸ばすことができた。
- ・少子化と子どもに興味も持ってもらえる内容が課題。

【子どもの声】

毎回、いろんなものを作るので楽しみに参加できた。屋外ではバスで野鳥を観たり、空の星を望遠鏡で見られてすごく良かった。

【保護者の声】

・体験活動後に、家で「望遠鏡で見る星ってきれい。木星なんて近くにあるように見えたよ」といきいきと報告してくれる姿に、子ども教室に参加させて良かったと思いました。

【スタッフの声】

・多くの子ども達に、いろんな活動を楽しく、いきいきと体験してもらい、その体験や経験が、これから子ども達の糧となり力となれば最高です。さらには、将来、指導者、リーダー等として地域貢献できる人になれば幸いです。

竜王町子ども教室【華道クラブ】 竜王・竜王西小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	11 日
	—	●		●	—		0日	11日	長期休暇日数	0 日

教室の実施場所

竜王町公民館

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学校3年生～6年生
 【参加人数】 平日 (0)人
 土日・祝日 (33)人
 長期休暇 (0)人

活動内容

生花体験



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】
 ・住民、学校教員OB、行政職員などの情報に提供により候補者リストアップ後、採用決裁により採用。
 ・公民館担当職員

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	2	—	—	1
登録者数	4	—	—	1

安全管理・配慮事項

【送迎】
 ・保護者による公民館玄関前および活動場所までの送迎。また、講師や職員の前での開放。
 【緊急対応】
 保護者への緊急連絡網の作成。
 休日活動が多いため休日急患診療所の連絡先、場所の把握。

【配慮の必要な子どもへの対応】
 ・個人健康調査票により受講生の状況を把握した。その上で、配慮の必要な子については、各担当講師へ伝える。
 ◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

連携している機関

【学校】 小学校2校

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 なし

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

事業を実施して

【成果と課題】
 ・子ども達に活動体験を通じて、異年齢の友達づくりや何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけてもらえ、技能を伸ばすことができた。
 ・少子化と子どもにも興味も持ってもらえる内容が課題。

【子どもの声】
 四季によって、いろんなお花が生けられて良かった。花の名前も教えてもらってわかりました。

【保護者の声】
 ・体験活動後に、家で「今日は、こんな花を生けたよ、見て」と笑顔で生花を見せてくれる姿に、安心とうれしさを感じました。

【スタッフの声】
 ・多くの子ども達に、いろんな活動を楽しく、いきいきと体験してもらい、その体験や経験が、これからの子ども達の糧となり力となれば最高です。さらには、将来、指導者、リーダー等として地域貢献できる人になれば幸せです。

竜王町子ども教室【絵画クラブ】 竜王・竜王西小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	10 日
	—	●		●	—		0日	10日	長期休暇日数	0 日

教室の実施場所

竜王町公民館
三井寺

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学校1年生～6年生
【参加人数】 平日 (0)人
土日・祝日 (100)人
長期休暇 (0)人

活動内容

粘土細工



壁画アート



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

- ・住民、学校教員OB、行政職員などの情報に提供により候補者リストアップ後、採用決裁により採用。
- ・公民館担当職員

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	2	—	—	1
登録者数	4	—	—	1

安全管理・配慮事項

【送迎】

- ・保護者による公民館玄関前および活動場所までの送迎。また、講師や職員の前での開放。

【緊急対応】

- 保護者への緊急連絡網の作成。
- 休日活動が多いため休日急患診療所の連絡先、場所の把握。

【配慮の必要な子どもへの対応】

- ・個人健康調査票により受講生の状況を把握した。その上で、配慮の必要な子については、各担当講師へ伝える。
- ◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

連携している機関

【学校】 小学校2校

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 なし

【企業・大学】 なし

【その他】 なし

事業を実施して

【成果と課題】

- ・子ども達に活動体験を通じて、異年齢の友達づくりや何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけてもらえ、技能を伸ばすことができた。
- ・少子化と子どもに興味も持ってもらえる内容が課題。

【子どもの声】

公民館の壁に海をテーマにみんなで描きました。魚が泳いでみたいです。

【保護者の声】

- ・活動を通して、家でも絵を描くようになり、本当に絵が好きになってくれたんだなあと感じました。

【スタッフの声】

- ・多くの子ども達に、いろんな活動を楽しみ、いきいきと体験してもらい、その体験や経験が、これからの子ども達の糧となり力となれば最高です。さらには、将来、指導者、リーダー等として地域貢献できる人になれば幸いです。

竜王町子ども教室【吹奏楽】 竜王・竜王西小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	43 日
	—	●		●	—		43日	0日	長期休暇日数	0 日

教室の実施場所

竜王町公民館

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学校4年生～6年生
 【参加人数】 平日 (344)人
 土日・祝日 (0)人
 長期休暇 (0)人

活動内容

練習



発表会



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

・住民、学校教員OB、行政職員などの情報に提供により候補者リストアップ後、採用決裁により採用。

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	3	—	—	3
登録者数	7	—	—	4

安全管理・配慮事項

【送迎】

・保護者による公民館玄関前および活動場所までの送迎。
 また、講師や職員の前での開放。

【緊急対応】

保護者への緊急連絡網の作成。
 休日活動が多いため休日急患診療所の連絡先、場所の把握。

【配慮の必要な子どもへの対応】

・個人健康調査票により受講生の状況を把握した。
 その上で、配慮の必要な子については、各担当講師へ伝える。
 ◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

連携している機関

【学校】 小学校2校

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 なし

【企業・大学】 みらいパーク竜王

【その他】 小学校PTA

事業を実施して

【成果と課題】

・子ども達に活動体験を通じて、異年齢の友達づくりや何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけてもらえ、技能を伸ばすことができた。
 ・少子化と子どもや保護者向けへの発表会やPR

【子どもの声】

・4年生から入っていて、最初は吹けなかった楽器が、今では吹けるし、いろんな楽器も吹けるようになって良かった。

【保護者の声】

・音楽の歌に興味を持ち始め、今は楽器も吹けるようになり、毎日練習している姿を見て、これからも音楽が好きな子どもでいてほしいと感じました。もう少し人数が増えるといいのですが。

【スタッフの声】

・多くの子ども達に、いろんな活動を楽しく、いきいきと体験してもらい、その体験や経験が、これからの子ども達の糧となり力となれば最高です。さらには、将来、指導者、リーダー等として地域貢献できる人になれば幸せです。

竜王町子ども教室【和太鼓】 竜王・竜王西小学校区

実施場所	学校内	学校外	活動の特徴	自由活動型	プログラム型	開催日数	平日	土日・祝日	年間開催日数	22 日
	—	●		—	●		0日	22日	長期休暇日数	0 日

教室の実施場所

竜王町公民館

参加対象学年・参加人数

【対 象】 小学校2年生～6年生

【参加人数】 平日 (0)人
 土日・祝日 (396)人
 長期休暇 (0)人

活動内容

和太鼓クラブの練習



コーディネーターや地域の方々などの参加

【採用・募集方法】

- ・住民、学校教員OB、行政職員などの情報に提供により候補者リストアップ後、採用決裁により採用。
- ・公民館担当職員

【スタッフ配置人数】

	安全管理員	学習アドバイザー	ボランティア	講師
1日あたり	2	—	—	1
登録者数	4	—	—	1

安全管理・配慮事項

【送迎】

- ・保護者による公民館玄関前および活動場所までの送迎。また、講師や職員の前での開放。

【緊急対応】

- 保護者への緊急連絡網の作成。
- 休日活動が多いため休日急患診療所の連絡先、場所の把握。

【配慮の必要な子どもへの対応】

- ・個人健康調査票により受講生の状況を把握した。その上で、配慮の必要な子については、各担当講師へ伝える。

◎特別支援学級(学校)の子どもの参加(0)人

連携している機関

【学校】 小学校2校

【学校支援地域本部】 なし

【児童クラブ】 なし

【地域】 なし

【企業・大学】 みらいパーク竜王、MOP

【その他】 小学校PTA

事業を実施して

【成果と課題】

- ・子ども達に活動体験を通じて、異年齢の友達づくりや何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけてもらえ、技能を伸ばすことができた。
- ・少子化と子どもに興味も持ってもらえる内容が課題。

【子どもの声】

- 友達が多くて、バチで太鼓を一生懸命たいて、うまく演奏できるようになって良かった。

【保護者の声】

- ・体験活動後に、家で「今日は楽しかった。手に豆ができた」等と笑顔でいきいきと報告してくれる姿に、子ども教室に参加させてよかったと思いました。

【スタッフの声】

- ・多くの子ども達に、いろんな活動を楽しく、いきいきと体験してもらい、その体験や経験が、これからの子ども達の糧となり力となれば最高です。さらには、将来、指導者、リーダー等として地域貢献できる人になれば幸いです。

放課後児童クラブの現状調査

平成23年5月1日現在

1 放課後児童クラブ数実施状況

(1) 小学校の状況

小学校区数	229 か所	児童数	85,052 人
小学校1～3年生の総数	41,954 人	*4～6	43,098 人

(2) 放課後児童クラブの概況

補助対象別クラブ数	国庫補助対象	大津市	市町単独実施	合計
	197	56	6	259

(3) 放課後児童クラブの状況

調査項目		公立公営	公立民営	民立民営	合 計
実 施 場 所 別 ク ラ ブ 数	児童館・児童センター	0	7	5	12
	学校の余裕教室	33	25	2	60
	学校敷地内専用施設	30	42	2	74
	公有地専用施設	28	36	1	65
	民有地専用施設	4	1	4	9
	民家・アパート	0	0	2	2
	公的施設利用	4	9	7	20
	団地集会室	0	0	0	0
	保育所	0	0	5	5
	幼稚園	1	6	0	7
	商店街空き店舗	0	0	1	1
	その他	0	1	3	4
	合計	100	127	32	259
登 録 児 童 数 別 ク ラ ブ 数	9人以下	3	2	1	6
	10人～19人	7	12	10	29
	20人～35人	28	35	6	69
	36人～70人	57	71	10	138
	71人以上	5	7	5	17
	合計	100	127	32	259
障 害 児 受 入 数 別 ク ラ ブ 数	受入なし	33	43	12	88
	1人	32	24	9	65
	2人	23	15	4	42
	3人	7	16	3	26
	4人以上	5	29	4	38
	合計	100	127	32	259
終 了 時 刻 別 ク ラ ブ 数	17:31～18:00	85	14	4	103
	18:01～18:30	14	51	6	71
	18:31～19:00	1	60	16	77
	19:01～20:00	0	2	5	7
	20:01～21:00	0	0	1	1
	合計	100	127	32	259
休 日 の 開 館 状 況 別 ク ラ ブ 数	土曜日（毎週実施以外）	94 (3)	100 (19)	32 (2)	226 (24)
	日曜・祝日	0	10	4	14
	長期休暇	100	110	32	242
学 年 別 児 童 数	小学校1年生（障害児）	1,318 (32)	1,610 (64)	353 (7)	3,281 (103)
	小学校2年生（障害児）	1,134 (28)	1,422 (72)	334 (10)	2,890 (110)
	小学校3年生（障害児）	853 (27)	1,067 (48)	302 (9)	2,222 (84)
	小学校4～6年生（障害児）	821 (33)	987 (84)	342 (21)	2,150 (138)
	その他（障害児）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計（障害児）	4,126 (120)	5,086 (268)	1,331 (47)	10,543 (435)
学 年 別 登録できなかった児童数	小学校1年生（障害児）	2 (0)	10 (0)	1 (1)	13 (1)
	小学校2年生（障害児）	1 (1)	9 (0)	0 (0)	10 (1)
	小学校3年生（障害児）	1 (0)	15 (0)	0 (0)	16 (0)
	小学校4～6年生（障害児）	9 (0)	21 (0)	0 (0)	30 (0)
	その他（障害児）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計（障害児）	13 (1)	55 (0)	1 (1)	69 (2)

注：（ ）内の数は、再掲である。

(4) 市区町村の実施状況

全市区町村数 A	実施率 (B/A)	実施市区町村			合 計 B
		市（特別区）	町	村	
19	100%	13	6	0	19